

埼玉県生協連 2019 年度第 1 回活動委員会

日時	2019 年 8 月 22 日 (木) 13 時 30 分～16 時 00 分
場所	埼玉県生協連会議室
出欠	別紙参照
次第	1. 出欠報告 (事務局)

■議題

I. 話したいこと

アイスブレイク

- | | |
|--------------------------------------|-------------|
| 1. 埼玉県生協連活動委員会の役割と考えてみたいこと | 事前資料 P 1- 4 |
| 2. ヘルスチャレンジ 2019 のすすめ方について | 当日資料 |
| 3. ドリームフェスタでの展示について | 当日資料 |
| 4. 7/3 開催「第 1 回組合員学習会」報告・ふりかえり | 事前資料 P 5 |
| 5. 11/21 役職員研修会、12/12 組合員活動交流会概要について | 当日資料 |
| 6. 6-8 月活動報告書と各会員生協資料 | 当日別冊 |

II. 日本生協連からの報告 (中央地連)

当日別冊

III. 確認したいこと

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| 1. 福島の子ども保養プロジェクト(コヨット)進捗状況 | 事前資料 P 6 |
| 2. NPT 再検討会議への被爆者参加を支援する募金への協力について | 当日資料 |
| 3. 第 55 回埼玉県消費者大会関連 | 事前資料 P 7- 9 |

IV. 報告したいこと

- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| 1. 業務報告 | |
| (1) 埼玉県生協連 7 月度のまとめと今後の課題 | 事前資料 P 10-23 |
| 2. 個別報告 | |
| (1) 8/31 開催 第 40 回九都県市防災訓練について | 事前資料 P 24-27 |
| (2) 10/11 開催 3 都県連共催「福祉事業公開学習会」について | 事前資料 P 28-29 |
| (3) 第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式報告 | 事前資料 P 30-31 |
| (4) 2019 平和のための埼玉の戦争展報告 | 事前資料 P 32 |

V. 報告したいこと②文書報告

- | | |
|--------------------------------------|-----------|
| 1. 埼玉県生協連 2018 年第 6 回活動委員会 (5/30) 報告 | 事前資料 P 33 |
| 2. 埼玉県生協連第 7 回理事会 (6/20) 報告 | 事前資料 P 34 |
| 3. 第 48 回埼玉県生協連通常総会報告 | 事前資料 P 35 |
| 4. 活動日誌と予定 | 当日資料 |

次回の活動委員会は、10 月 17 日 13 時 30 分～ 埼玉県生協連 会議室です

活動委員会規則

(目 的)

第1条 埼玉県生活協同組合連合会（以下この会という）は、会員規約第5条（委員会・部会への所属）の主旨にもとづき、この会とこの会加盟生協の連帯強化のために埼玉県生活協同組合連合会活動委員会（略称・埼玉県生協連活動委員会、以下この委員会）を設置する。

(構成)

第2条 この委員会は、加盟生協の組合員活動に関わる役職員責任者、組合員代表者で構成し、その任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、構成者が任期途中で交代した場合、後任の構成者の任期は、前任者の残余期間とする。

(活動)

第3条 この委員会は、主に次の活動を行う。

- (1) この委員会の構成生協の組織・事業活動の交流と協同行動。
- (2) この委員会の構成生協の役職員・組合員の研修交流
- (3) この会の総会議案の事前討議及び関連事項の協議。
- (4) その他、この委員会が必要とされた活動。

(委員長・副委員長)

第4条 この委員会に委員長1名を置く。また、副委員長若干名を置くことができる。

2 委員長は、理事会において選任する。

(招集)

第5条 この委員会の招集は委員長がおこなう。

(会日)

第6条 この委員会は、原則として年6回の開催とする。

(事務局)

第7条 この委員会の事務局はこの会に置く。

(改廃)

第8条 この規則の改廃は、常務理事会の議を経て理事会において議決する。

(付則)

1. この規則は、2016年6月29日から実施する。

2019 年度埼玉県生活協同組合連合会、埼玉県消費者団体連絡会関連
埼玉消費者被害をなくす会学習会等日程およびテーマ（案）一覧

時間随時記入

2019 年 5 月 28 日現在 埼玉県生協連

日時	学習会名	対象と目的	テーマ	会場
6/26 (水) 19 時～21 時	さよなら原発埼玉県民 集会プレ学習会	一般	地図から消される街 8 年後の福島避難者	浦和コミュニ ティセンター
7/3 (水) 10:30～13 時 (予定)	第 1 回組合員学習会	組合員活動 リーダー80 人	子どもの貧困：シンポ ジウム形式で生協・団 体の事例報告	浦和コミュニ ティセンター 第 13 集会室
7/12 (金) 10:30～12: 30(予定)	第 55 回埼玉県消費者 大会プレ学習会	消費者団体 100 人	憲法を学ぶ 弁護士 伊藤真さん	市民会館うら わ 705・706
7/27 (土)～ 29 (月)	平和のための埼玉の戦 争展	一般		浦和コルソ
8/27 (火) 10 時 30 分～14 時 30 分 (予定)	県内消費者団体 全体研修会	消費者団体 100 人	コミュニケーション力 アップ学習	埼玉会館 ラウンジ
8/28 (水)	消費者力アップ学習会	一般	「キャッシュレスの時 代！信用格差が生まれ る?? (仮)」	浦和コミュニ ティセンター 第 13 集会室
8 月・9 月	不当表示の見分け方講 座	一般	消費者力	4～5 会場 未定
未定	消費者被害防止 サポーター養成講座	一般	消費者力	12 会場 (未定)
10/10 (木)	埼玉県消費者大会 記念講演	消費者団体 1000 人	SDG s について学ぶ	埼玉会館
同	同分科会	4 テーマ	・食の問題・消費者課 題・防災・減災・環境	埼玉会館
11/21 (木)	役職員研修会	会員生協役 職員 60 人	協同組合連携関連	未定
11 月～12 月	消費者力アップ学習会	一般	消費者力	未定
12/12 (木)	組合員活動交流会	組合員活動 リーダー 100 人	楽しい会議のすすめ 方、共通認識の作り方	未定
1/20 月 23 木 2/7 金 10 月	県内消費者団体 地区別研修会	消費者団体 各 60 人		川越・寄居 鴻巣・春日部
2 月 (予定)	消費者力アップ学習会	一般	消費者力	未定
2/12 (水)	JA 女性協との早春交流 会	組合員活動 リーダー25 人		商品検査セン ター、ばる☆ てらす
3/4 (水)	第 2 回組合員学習会		子どもの未来アクショ ン関連の取り組み報告 会 栗林知絵子さん	未定

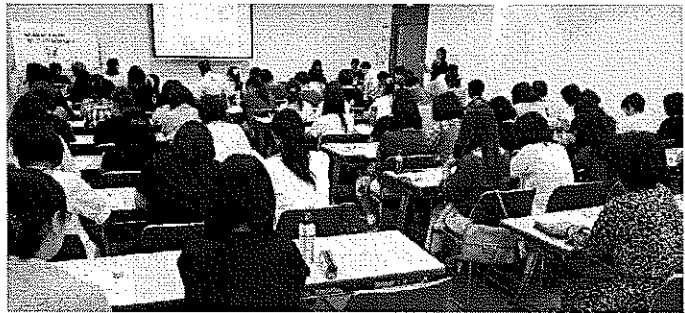
課題・テーマ/四半期・月度	項目の概要	第1四半期				第2四半期			
		4月		5月		6月		7月	
1. 機関運営	通常総会、理事会、監事会、活動委員会など	4/4 第5回活動委員会 4/11 第4回常務理事会 4/18 第5回監事会 4/18 役員選挙委員会 4/19 第4回総会	5/9 第5回常務理事会 5/16 第6回監事会 5/24 第5回総会 5/30 第6回活動委員会	6/20 第7回理事会 6/20 第48回通常総会 6/20 第1回理事会	7/9 災害対策委員会(予定) 8/22 第1回活動委員会 8/29 第1回常務理事会	8/12 第2回理事会	9月		
2. 外部会議	日生協・中央地連など			6/14 日生協総会		7/3 中央地連組合員理事交流会 7/17・18 全国地連活動推進会議 7/23 中央地連運営委員会 7/26 組合員活動委員会 7/3 組合員学習会	9/24 中央地連運営委員会・県連活動推進会議 9/27 組合員活動委員会		
3. 大切にしている3つの視点と重点課題	① 学びと、各会員生協の交流を深める ② 復興支援・食・くらし全般・環境・福祉・子育てなどのテーマ ③ 各テーマ担当者による交流 ④ その他							8/31 九都県市防災訓練	9月14・15日コミュニティin埼玉
	社会への発信 幅広い連携の形成	4/23 消費者大会実行委員会	5/20 消費者大会実行委員会	6/18 消費者大会実行委員会	7/12 消費者大会プレ学習会 消費者大会実行委員会		8/21 消費者大会実行委員会 8/27 県内消費者団体全体研修会	9/19 消費者大会実行委員会	
	重点課題 ① 移住・移住者への支援 ② 子どもの貧困や生活困窮者への支援 ③ 消費者被害防止の学習	4/25 フードバンク埼玉総会			7/28 埼玉県原爆死没者追悼式 (浦和コミセン多目的室) 7/27-29 平和のための戦争展 (浦和コルソホール)		8/4-9 ビースアクションヒロシマ・ナガサキ		
4. 広報計画	広報誌発行、HPに載せる事項など								
5. 個別課題 消費運動	県内消費者運動のサポート、消費運動のあり方検討	4/10 埼玉消費運動連絡会総会	5/10 埼玉消費運動連絡会	6/13 埼玉消費運動連絡会	7/11 埼玉消費運動連絡会		8/1 埼玉消費運動連絡会	9/11 埼玉消費運動連絡会	
6. 個別課題 事務局機能	総会・理事会・検討委員会・活動委員会・その他	4/18 活動委員会 4/22 検討委員会(達止・被害)	5/13 活動委員会 5/28 理事会 5/28 検討委員会(達止・被害)	6/5 活動委員会 6/25 第16回総会 6/28 検討委員会(達止・被害)	7/9 活動委員会 7/29 理事会 7/29 検討委員会(達止・被害)	8/28 活動委員会 8/28 消費者力アップ学習会 8/23 検討委員会(達止・被害)	9/13 活動委員会 9/26 理事会 9/26 検討委員会(達止・被害)		
7. 個別課題 サポート	養成講座実施、養成したサポートのサポート、推進委員、インターネット広告								
8. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
9. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
10. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
11. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
12. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
13. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
14. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
15. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
16. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
17. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
18. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
19. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
20. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
21. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
22. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
23. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
24. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
25. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
26. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
27. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
28. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
29. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
30. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
31. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
32. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
33. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
34. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
35. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
36. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
37. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
38. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
39. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
40. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
41. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
42. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
43. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
44. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
45. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
46. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
47. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
48. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
49. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
50. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
51. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
52. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
53. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
54. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
55. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
56. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
57. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
58. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
59. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
60. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
61. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
62. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
63. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
64. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
65. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
66. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
67. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
68. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
69. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
70. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
71. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
72. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
73. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
74. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
75. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
76. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
77. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
78. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
79. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
80. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
81. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
82. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
83. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
84. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
85. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
86. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
87. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
88. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
89. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
90. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
91. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
92. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
93. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
94. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
95. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
96. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
97. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
98. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
99. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								
100. 個別課題 サポート	県事業受託の運営								

課題・テーマ/四半期・月度		第3四半期				第4四半期			
項目の概要		10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1. 機関運営	運営総会、理事会、監事会、活動委員会など	10/17 第2回活動委員会 10/31 第2回災害対策委員会	11/14 第2回常務理事会 11/21 第3回常務理事会	12/12 第3回活動委員会 12/28 第3回常務理事会	1/16 第4回常務理事会 1/16 常務協議会	2/14 第4回活動委員会 2/27 第4回常務理事会	3/12 第5回常務理事会		
2. 外部会議	日生協・中央地連など	10/25 関東甲信越行政生協関係者連絡会	11/26 中央地連運営委員会・県連活動推進会議	12/3 組合員活動委員会	1/14・15 全国方針検討委員会 1/14 日生協実同交歓会 1/28 中央地連運営委員会・県連活動推進会議 1/27 助け合い学習交流会		3/26 中央地連議案検討会議・中央地連運営委員会 3/31 組合員活動委員会		
3. 大切にす る3つの場 点と重点課 題	① 埼玉県生協連主催の学習会、交流会など ② 復興支援・食・くらし会館・環境・福祉・子育てなどのテーマ ③ その他	10/11 福祉事業公開学習会 (千葉・東京・埼玉・群馬)	11/21 役職員研修会 時間変更午後開催予定	12/5 福祉助け合い担当者交流会 12/12 組合員活動交流会 環境・子育てなどの各分野の担当者交流会を計画			3/4 組合員学習会		
	社会への発信 幅広い連携の形成	10/10 埼玉県消費若大会	11/28 消費者大会実行委員会 (埼玉県との調整が必要取置き)		1/20、1/23 県内消費者団体地区別研修会 2/7、2/10 県内消費者団体地区別研修会	2/12 早稲交流会(案)	3/10 埼玉新聞「生協特集」		
	重点課題 ① 核兵器廃絶・平和・憲法 ② 子どもの貧困 ③ 生活困窮者への支援 ④ 消費者被害防止の学習	① ヒパクシヤ国際署名の推進、県内での核兵器廃絶に向けた取り組み ② NPT 再検討会議に向けた取り組み ③ 日本国憲法を知る取り組み ④ 平和を考える取り組み ⑤ 子どもの未来アクション ⑥ 子どもの未来アンバサダー ⑦ 地域のソーシャルワークカを強める取り組み ⑧ 消費者被害未然防止のための学習など				2/28 日生協ピースアクションキックオフ			
4. 広報計画	広報誌発行、HPに 関わる事項など								
5. 個別課題 消費連	県内消費者運動の サポート、消費連 のあり方検討	10/24 埼玉消費連幹事会	11/20 埼玉消費連幹事会	12/19 埼玉消費連幹事会	1/10 埼玉消費連幹事会	2/21 埼玉消費連幹事会	3/18 埼玉消費連幹事会		
6. 個別課題 事務局機能 なくす会	総会・理事会・検討委員会・活動 委員会、その他	10/8 活動委員会 10/21 検討委員会(差止・被害)	11/11 活動委員会 11/22 理事会 11/22 検討委員会(差止・被害)	12/13 活動委員会 12/19 検討委員会(差止・被害)	1/9 活動委員会 1/24 理事会 1/24 検討委員会(差止・被害)	2/6 活動委員会 2/26 検討委員会(差止・被害)	3/10 活動委員会 3/24 理事会 3/24 検討委員会(差止・被害)		
7. 個別課題 事務局機能 サポート	養成講座実施、養成したサポーターのサポート、推進委員、インターネット広告								
8. 個別課題 さよなら 原発		10/5 さよなら原発埼玉県民集会 (市民会館おおみや)							

埼玉県生活協同組合連合会主催

第1回組合員学習会「地域コミュニティや見守り、多世代が参加できる場づくり」報告

埼玉県生協連の2019年度の3つの重点課題のひとつである「子どもの貧困や生活困窮者への支援」、また地域コミュニティづくりや見守り、多世代が集まる場づくりなどについて、各生協と県内で活動する団体の取り組みを学び、相互理解を深め、今後の活動につなげることを目的に、第1回組合員学習会を開催しました。



2019年7月3日(水) 10時30分～13時 浦和コミュニティセンター 第13集会室
対象 地域で組合員活動に関わり、運営・サポートをおこなっている方
参加 4生協72人(報告者含む)

1. 開催内容

はじめに、専務理事の吉川尚彦より、学習会の開催趣旨と地域社会づくりにとりくむことの意味などについてあいさつがあり、次に、以下の順で取り組み報告、その後交流しました。

報告1 多世代コミュニティキッチン「おーい、ココロくらぶ」 竹部初美さん

報告2 シニアの居場所づくり座談会について

パルシステム埼玉 石川誠さん

報告3 子ども食堂「いっしょにたべよ」

ポトフ 大島玲子さん

報告4 子ども食堂「シャローム食堂」

北川由美子さん

報告5 フードバンク埼玉について

永田信雄さん

報告6 フードドライブ活動を通して

ワーカーズコープ 石川睦子さん

報告7 埼玉協同病院小児虐待対策チームのとりくみ

木賊敦子さん

報告8 埼玉県のとりのくみ 福祉部少子政策課こどもの未来応援担当 大山典宏さん
振り返りと共有(前後でグループになって交流)



2. 寄せられた感想(抜粋)

いろいろなコンセプトのこども食堂の話が聞けてよかった。70代、80代のボランティアさんが多いというのに驚いた/これからは地域のつながり、居場所づくり、助け合いがとても大切になってくると感じた/シニアの居場所づくり、何も用意せずに待つのは勇気が要るが、ゆるやかさが斬新で、その後の展開を知りたいと思った/フードバンクの取り組みや、フードドライブで集まった食品の行方、生活困窮者支援について改めて理解できた/埼玉県が子ども食堂の立ち上げ支援やマッチングしていることを初めて知った/医療生協のとりのくみを聞く機会が少なく、聞けてよかった。チームで対応していることに感銘した。生協のプロらしい活動だと思った

3. 今後に向けて

子ども食堂やフードバンク埼玉の見学、さらなる居場所づくりの学習などへの要望があり、実施を検討していきます。

2019 コヨット in 埼玉

ただ今超絶人気中！

「ムーミンバレーパークと鉄道博物館」

親子でたのしんじゃおう

9月14日(土)～15日(日) 1泊2日



14日(土)

- ・福島駅・郡山駅出発！ 朝食(X)
- ・昼食(高速道路PA 各自)
- ・ムーミンバレーパーク(お弁当持ち込みX)
- ・夕食(O)
- ・親子レクレーション

15日(日)

- ・朝食(O)
 - ・鉄道博物館(昼食 O)
 - ・郡山駅・福島駅に向けて出発！ 夕食(X)
- 全行程、バスでの移動になります。



バス会社 協和交通(株)

宿泊先	9月14日(土) 埼玉県入間郡越生町古池 700 ニューサンピア埼玉おごせ 電話：049-292-6113 1組＝1部屋
参加対象	福島県在住の小学2年生～小学6年生と保護者
募集人数	15組35人(1組＝保護者1人とこども2人まで) ※応募多数の場合は抽選となります。
参加費	大人1人 8,000円 こども1人 5,000円
出発地	9月14日(土) 福島駅7時・郡山駅8時出発 バスで移動
帰着地	9月15日(日) 郡山駅17時30分・福島駅18時30分到着(予定)
申込方法	福島県生協連のホームページよりお申込みください。
応募締切	8月16日(金) 午前中
その他	①詳しい持ち物については、参加者にお送りする「しおり」で確認してください。 ②アレルギー調査票、健康チェック表など、お子さんの安全を守るために事前にご記入いただきます。ご協力をお願いします。 ③天候などの事情で、開催中止や企画内容が変更になる場合があります。ご承知おきください。 ④施設見学でのアトラクション代金は、各自負担となります。 ⑤夕食は、大人用と子供用になります。

【内容に関するお問い合わせは】

埼玉県生活協同組合連合会 担当 清水勤

☎048-844-8971 9時～17時(土日祝休)

【お申込みにに関するお問い合わせは】

福島県生活協同組合連合会 担当 根本

☎024-522-5566 9時～16時(土日祝休)

主催：埼玉県生活協同組合連合会・埼玉県ユニセフ協会

旅行企画：コープトラベル東北 コープトラベルみやぎ 観光長官登録旅行業第1122号

総合旅行業務取扱管理者 五十嵐めぐみ

第 55 回埼玉県消費者大会

10月10日(木) 10時30分～ 埼玉会館

第 4 回実行委員会報告

第 4 号 (7月12日発行)

実行委員会事務局 (県生協連内)

電話 048-844-8971

Fax 048-844-8973

Mail: shodanren@saitama-k.com

開催日時 2019年7月12日(金) 13時30分～15時30分

開催場所 市民会館うらわ 705・706 集会室

出席者 32人(23団体)事務局2人

【議題】

1. 事務局長あいさつ
2. 第3回実行委員会報告をおこない、前回までの到達点を確認しました
3. 基調報告について
 - (1) 最長4ページプラス用語の補足説明1ページのイメージ。
 - (2) 意見を聞きながら、加筆修正していきます。
4. 埼玉県への要請について
昨年の要請事項をもとに、各団体から追加・削除など意見をもらい、とりまとめていきます。埼玉県との懇談は事前調整のうえ、11月をめざすことを確認しました。
5. 大会内容関連の話し合い
 - (1) 記念講演のテーマ、タイトルなど
身近なことに結び付けて話してほしい。消費者に何ができるのかに思い至るような内容にしてほしい。SDGsについてのわかりやすい資料も配布できるといい。
 - (2) 壇上での団体紹介について
今年については、事務局長提案で団体名と代表者名を呼ぶこととします。
 - (3) オープニング活動紹介イメージ
1団体3枚を上限にスライドを作成します。画像と活動紹介文言をファックス用紙で集約します。
 - (4) ロビー展示について
例年通りの掲示スペースを確保します。当日までに準備する。埼玉消費者被害をなくす会については、別途掲示スペースを確保することを確認しました。
 - (5) チラシ希望集約
版下・データ・紙(枚数)について、集約します。
6. 第56回消費者大会についての話し合い
実行委員会団体の負担が増えないよう、次回以降話し合いをすすめます。
7. 分科会打合せ
 - ① 食②消費者課題③防災・減災④環境の4つのテーマにわかれ、テーマや助言者について出し合いました。
8. 市町村における消費生活関連事業調査協力をお願い
今後市町村に送付する調査内容を提示し、各団体から市町村窓口に呼びかけることを依頼しました。
9. その他ご案内
8/27 県内消費者団体全体研修会、8/28 埼玉消費者被害をなくす会主催「消費者力アップ学習会」をご案内しました。

次回までをお願いすること(8/16を目安に) FAXもしくはEメールで送信ください

- ① 団体活動紹介(写真1枚につき36文字以内・写真は3枚まで) ② 埼玉県への要請についての意見 ③ 基調報告についての意見 ④ 記念講演の内容についての要望 ⑤ その他ご意見等 ⑥ 8/21の出欠

第55回

Vol 1 20190802 版

埼玉県消費者大会

自ら考え行動する消費者になろう ～誰ひとり取り残さない持続可能な社会を目指して～

埼玉県消費者大会は、県内の消費者団体や県民が、くらしをめぐるさまざまな問題を考え学ぶ場です。

2019年10月10日(木)

埼玉会館(さいたま市浦和区)

記念講演

エスディー・ジーズ

SDGsを自分ごと化して、暮らしを見つめなおそう!

講師 国連広報センター所長 根本 かおるさん



東京大学法学部卒。テレビ朝日を経て、米国コロンビア大学大学院より国際関係論修士号を取得。1996年から2011年末まで国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）にて、アジア、アフリカなどで難民支援活動に従事。ジュネーブ本部では政策立案、民間部門からの活動資金調達のコーディネートを担当。WFP 国連世界食糧計画広報官、国連 UNHCR 協会事務局長も歴任。フリー・ジャーナリストを経て 2013 年 8 月より現職。2016 年より日本政府が開催する「持続可能な開発目標（SDGs）推進円卓会議」の委員を務める。著書に『難民鎖国ニッポンのゆくえ - 日本で生きる難民と支える人々の姿を追って』（ポプラ新書）他。

全体会（大ホール）

10:30～12:30（10:00 開場）

- ・オープニング（団体紹介映像上映）
- ・実行委員会の話し合い報告など

記念講演 11:10～12:25

分科会（小ホール・会議室）

13:30～15:30（13:00 開場）

- ・4つの分科会を実施します
- 1.食の分科会 2.消費者課題分科会
- 3.防災・減災分科会 4.環境分科会
- ※詳しくは、裏面を参照ください

参加費無料 定員 1,000 名
申込み・問い合わせ

どなたでも参加できます
申込みは実行委員会事務局へ
電話・FAX・メールで

託児あります（先着 10 名）
詳しくは裏面をご覧ください

《主催：第 55 回埼玉県消費者大会実行委員会》

《後援：埼玉県（申請中）》

事務局 TEL 048-844-8971 FAX 048-844-8973

（月～金 9 時～17 時 土日祝休）

Mail: shodanren@saitama-k.com

（〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 7-11-5 埼玉県生協連内）



Kobaton

第55回埼玉県消費者大会



Kobaton

分科会

※分科会は、事前申込不要、当日先着です。満席の際はご容赦ください。

13:30～15:30（13:00開場） 埼玉会館

①食の分科会

安心・安全な食をつなげる（仮）

②消費者課題分科会

「実はあなたも使っているキャッシュレス決済！（仮）」

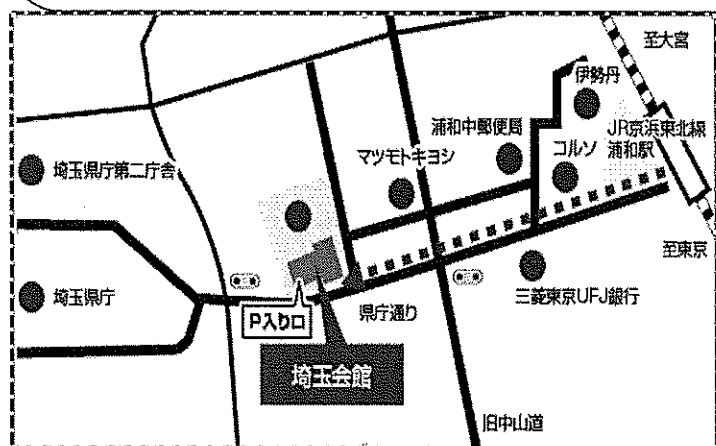
③防災・減災分科会

イツモ防災講座（仮）

④環境分科会

「No！マイクロプラスチック
～埼玉県民が海を救う～（仮）」

♪ 託児あります 要申込・先着 ♪（定員10名：1歳以上の未就学児）締切り9月27日（金）
希望の方は必ず事前にご連絡下さい 048-844-8971（消費者大会事務局 9時～17時）
託児料 1日 ￥500、半日 ￥300（おやつ、飲み物はご持参ください）



【埼玉会館アクセス】

住所 さいたま市浦和区高砂 3-1-4

JR浦和駅下車

〔宇都宮線・高崎線・湘南新宿ライン〕
〔京浜東北線〕

西口より徒歩6分

駐車場有り（台数限り有・有料）

※公共交通機関のご利用をお願いします。

《主催：第55回埼玉県消費者大会実行委員会 参加団体》

埼玉県地域婦人会連合会／新日本婦人の会埼玉県本部／埼玉県生活協同組合連合会／埼玉母親大会連絡会
埼玉公団住宅自治会協議会／JA埼玉県女性組織協議会／埼玉県農民運動連合会／埼玉県消費生活コンサルタントの会／NPO法人埼玉消費者被害をなくす会／生活協同組合コープみらい／生活協同組合パルシステム埼玉／医療生協さいたま生活協同組合／さいたま住宅生活協同組合／埼玉県労働者共済生活協同組合／さいたま市消費者団体連絡会／上尾市消費者団体連絡会／春日部市くらしの会／加須市くらしの会／久喜市くらしの会／越谷市消費生活研究会／埼玉県西部地区消費者団体活動推進世話人会／志木市くらしの会／白岡市くらしの会／新座市消費者展実行委員会／飯能市消費者団体連絡会／埼玉県消費者団体連絡会

埼玉県生協連 7 月度まとめと今後の課題

2019 年 8 月 7 日

埼玉県生協連専務理事 吉川尚彦

1. 全体状況

(1) 会員生協総代会・総会の状況

7 月 29 日、埼玉県労働者共済生活協同組合の総代会が行われ、全ての議案が可決されました。なお、総代会・総会については、9 月に開催される第 2 回理事会で交流を行う予定です。

(2) 第 1 回組合員学習会

「地域コミュニティや見守り、多世代が参加できる場づくり」開催

7 月 3 日、4 生協 72 人の参加で、多世代サロンや子ども食堂、フードバンクとフードドライブ活動、小児虐待対策、埼玉県の子どもの居場所づくり支援策など 8 つの取り組み報告とグループ交流をおこないました（別紙 1 報告）。

(3) 埼玉県と埼玉県生協連の定期協議

7 月 31 日、2019 年度第 1 回埼玉県と埼玉県生協連定期協議を行いました。2020 年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望を提出した他、埼玉県からは今年度の生協検査などに関する発言がありました（別紙 2 報告）。

(4) 2019 年度第 1 回災害対策委員会

7 月 25 日、2019 年度第 1 回災害対策委員会を行いました。九都県市防災訓練に関する話し合い、各生協の取り組みについて交流しました（別紙 3 報告）。

2. 分野の取り組み状況

(1) 食とくらしに関する取り組み

- ① 7 月 13 日、埼玉県内災害ボランティア団体のネットワーク組織「彩の国会議」の 2019 年度第 1 回定例会が行われ、24 団体 38 人が参加しました。埼玉県生協連からも 2 人が参加し、今年度の「彩の国会議」の活動計画の報告や、災害ボランティア団体のネットワークの果たす役割についてのワークショップを行いました。
- ② 2019 コヨット in 埼玉（9 月 14・15 日）の募集案内チラシを作成し、7 月 29 日（月）から福島県生協連で募集を開始しました。（別紙 4 報告）
- ③ 「消費者被害防止サポーター活動推進事業」については、第 1 回フォローアップ研修と交流会を県内 4 会場で開催し、73 人のサポーターと 10 人の消費行政職員が参加しました。これで第 1 回フォローアップ研修、交流会は 7 会場すべて終了しました。また、7 月 11 日に坂戸市で福祉見守り担当者講座を開催し、坂戸市区長会に皆さん 103 人が参加しました（別紙 5 報告）。
- ④ 「高齢者見守り促進事業」では 3 市を訪問し、消費者安全確保地域協議会の設置やサポーターと連携した啓発活動について意見交換しました。
- ⑤ 適格消費者団体の取り組み（差止および被害回復）では、現在 1 件の訴訟が継続中です。28 日理事会にて、あらたに書面による差止請求 2 件、申入れ 2 件が承認されました。差止請求 0 件（累計 0 件）、申入れ 1 件（8 件）、お問合せ対応は 2 件（21 件）、検討中 13 件でした。被害回復の取り組みは、申入れ 0 件（1 件）、お問合せ 0 件（0 件）、検討中 2 件でした。

差し止め 訴訟	NTT ドコモ	最高裁判所から上告不受理の連絡が届きました。
差し止め 訴訟	ディー・エヌ・エー	第 8 回期日が、9 月 11 日（水）10 時 30 分さいたま地裁で行われます。

※事業者への対応ステップ・・・お問合せ→申入れ→書面による差止請求(41条書面)→訴訟

- ⑥ 10月5日開催の「さよなら原発埼玉県民集会」に向けて準備を進め、第1弾のチラシを作成しました。いったんの周知用として活用いただき、今後の実行委員会を受けて修正していきます(別紙6報告)。
- ⑦ フードバンク埼玉第1回理事会・運営委員会が7月24日に開催され、仕分け・配送ボランティアへの謝金(実費交通費等)について、弁護士からの支援要請への対応などについて協議しました。

(2) 平和・国際支援に関する取り組み

- ① 7月28日、「第34回埼玉県原爆死没者慰霊式(主催・埼玉県原爆被害者協議会、協力・同実行委員会)」を開催し、260人が参列しました。埼玉県内原爆死没者名簿には今年度あらたに88人が記載され、1,617人の名簿が奉納されました。慰霊式の最後には平和への想いを込めて「原爆許すまじ」を斉唱しました。
- ② 7月27～29日「2019平和のための埼玉の戦争展(同実行委員会主催)」が浦和コルソホールで行われ、期間内に8,500人が会場を訪れました。なお、開催にあたっては会員生協の皆さんが、分担金協力、会場設営スタッフ、受付スタッフとして運営を支えました。
- ③ ヒバクシャ国際署名は、埼玉連絡会全体では315,247筆(7月末日時点集約)となりました。埼玉県原爆死没者慰霊式の終了後には埼玉連絡会主催で、JR浦和駅東口で署名行動を行い、76筆が寄せられました。

(3) 広報・コミュニケーション

- ① 情報7月号(通常総会・総代会特集号)、写真ニュース夏号を発行しました。
- ② 会長理事の就任に伴い、マスコミ支局9社を訪問しました。

3. 行政・諸団体との連携・ネットワーク

(1) 行政

- ① 埼玉県環境審議会の委員を吉川会長理事に変更する手続きを行いました。任期は前任者を引き継ぎ、2020年7月31日までです。

(2) 埼玉消団連

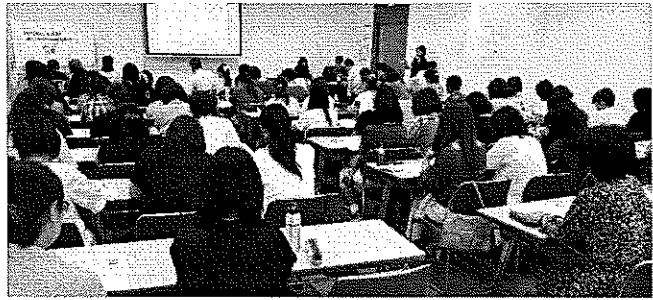
- ① 第55回埼玉県消費者大会プレ学習会を7月12日に開催し、95人が参加。「わたしたちのくらしと憲法のかかわり」と題して、弁護士の伊藤真さんに講演いただきました。
- ② 市町村における消費生活関連事業調査表を発送しました。
- ③ 埼玉県プラスチック問題対策協議会に出席しました。
- ④ 「近いがうまい埼玉産」地産地消推進会議に埼玉消団連、県生協連、新婦人から出席し、消費者団体の取り組みを報告しました。
- ⑤ 「コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ」への名義後援を確認しました。

4. 今後の課題

- ・ 埼玉県消費者大会本冊子作成準備、分科会・記念講演等準備を行います。
- ・ 埼玉消団連として市町村消費生活関連事業調査の集計準備。8月27日県内消費者団体全体研修会集約と準備を行います。
- ・ 九都県市合同防災訓練(8月31日 和光市)の実施にむけた準備を行います。
- ・ 2019コヨット in 埼玉(9月14・15日)の実施にむけた準備を行います。
- ・ 適格消費者団体連絡協議会(9月7・8日)参加に向けた準備をおこないます。

第1回組合員学習会「地域コミュニティや見守り、多世代が参加できる場づくり」報告

埼玉県生協連の2019年度の3つの重点課題のひとつである「子どもの貧困や生活困窮者への支援」、また地域コミュニティづくりや見守り、多世代が集まる場づくりなどについて、各生協と県内で活動



する団体の取り組みを学び、相互理解を深め、今後の活動につなげることを目的に、第1回組合員学習会を開催しました。

2019年7月3日（水）10時30分～13時 浦和コミュニティセンター 第13集会室
 対象 地域で組合員活動に関わり、運営・サポートをおこなっている方
 参加 4生協72人（報告者含む）

1. 開催内容

はじめに、専務理事の吉川尚彦より、学習会の開催趣旨と地域社会づくりにとくむことの意味などについてあいさつがあり、次に、以下の順で取り組み報告、その後交流しました。

報告1 多世代コミュニティキッチン「おーい、ココロンくらぶ」 竹部初美さん

報告2 シニアの居場所づくり座談会について

パルシステム埼玉 石川誠さん

報告3 子ども食堂「いっしょにたべよ」

ポトフ 大島玲子さん

報告4 子ども食堂「シャローム食堂」

北川由美子さん

報告5 フードバンク埼玉について

永田信雄さん

報告6 フードドライブ活動を通して

ワーカーズコープ 石川睦子さん

報告7 埼玉協同病院小児虐待対策チームのとりくみ

木賊敦子さん

報告8 埼玉県のとりくみ 福祉部少子政策課こどもの未来応援担当 大山典宏さん
 振り返りと共有（前後でグループになって交流）



2. 寄せられた感想（抜粋）

いろいろなコンセプトのこども食堂の話が聞けてよかった。70代、80代のボランティアさんが多いというのに驚いた/これからは地域のつながり、居場所づくり、助け合いがとても大切になってくると感じた/シニアの居場所づくり、何も用意せずに待つのは勇気が要るが、ゆるやかさが斬新で、その後の展開を知りたいと思った/フードバンクの取り組みや、フードドライブで集まった食品の行方、生活困窮者支援について改めて理解できた/埼玉県が子ども食堂の立ち上げ支援やマッチングしていることを初めて知った/医療生協のとりくみを聞く機会が少なく、聞けてよかった。チームで対応していることに感銘した。生協のプロらしい活動だと思った

3. 今後に向けて

子ども食堂やフードバンク埼玉の見学、さらなる居場所づくりの学習などへの要望があり、実施を検討していきます。

埼玉県知事
上田 清司 様

埼玉県生活協同組合連合会
会長理事 吉川尚彦

2020年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望

埼玉県におかれましては、食の安全や消費者行政、環境や福祉など県民生活全般において施策を積極的に推進されていることに敬意を表します。また、日頃より当会に対しご高配いただき感謝申し上げます。

さて、私ども埼玉県生活協同組合連合会と会員生協は、通常総（代）会を終了し、新たなスタートを開始することができました。これもひとえに、多くの皆様のご指導・ご鞭撻の賜物と感謝申し上げます。

なお、埼玉県生協連参加の生協は、2019年3月末で以下のような状況になっております。

埼玉県生活協同組合連合会の現勢

組合員数	約 221 万人
総事業高	約 4,535 億円※1
出資金総額	約 900 億円

※1 都県を超えて活動している生協は、他都県を含めた生協全体の事業高を合計しました。

埼玉県内の世帯数約300万世帯のうち、会員生協の組合員は221万人となりました。埼玉県生協連に加盟する県内16の生協は、購買、医療、福祉、大学や学園、共済、住宅、保育などの事業を通して、食の安全や環境に配慮した取り組み、災害時の支援、消費者被害防止など、社会的な役割を発揮し、くらしの安全・安心の確保に努めてまいりました。

生協組合員や消費者のくらしは、この間の生活必需品の高騰による負担増、そして年金・医療・介護等の社会保障への将来不安もあり厳しさを増しています。引き続き、生協の事業・活動を強化するとともに誰もが安心してくらす社会をめざす取り組みが大切になっています。

また、生活に困窮する低所得者が増加しています。生活保護受給世帯は高止まりし、とりわけ高齢世帯が約半分を占めるなど深刻な現状です。また、格差・貧困が広がる中、子どもの貧困やワーキングプアも深刻な社会問題です。

今年度、埼玉県生協連は3つの重点課題に取り組みます。第一に核兵器廃絶・平和・憲法の学習、第二に子どもの貧困や生活困窮者への支援、第三に消費者被害防止の3つです。

消費者市民社会づくりに向けて、県行政の皆様方との相互の協力関係を一層広げ、生協の組合員のみならず、埼玉県民全体の生活安定や生活文化の向上に役立つよう、私どもも一層の努力をしていく所存です。

つきましては、生活協同組合ならびに県民生活の安定に関して、来年度、埼玉県予算ならびに行政執行上ご配慮をいただきたく、下記の諸点につきご要望申し上げます。

1. 生活協同組合の発展が県民生活の安定にとって重要との位置づけから、生活協同組合の地域づくりの役割発揮と支援策を引き続き強められるよう、次の点を要望いたします。
 - (1) 生協は、安心して暮らし続けられる豊かな地域社会づくりの取り組みを県内各地で展開しています。埼玉県と生協が連携することで、より地域を豊かにしていくことができると考えています。ともに取り組む立場から、埼玉県が策定する5か年計画をはじめ、消費生活、食の安全、環境、福祉、防災等の施策に、生活協同組合の役割を明記してください。
 - (2) 埼玉県消費生活協同組合役職員等研修事業委託費、埼玉県生活協同組合連合会事業活動促進費補助金については、総額を維持されるようお願いいたします。

2. 県民生活の向上・充実などにつながる諸施策について、次の点を要望します。

- (1) 食の安全に関する対策について

- ① 埼玉県ではこの間、3つの中核市が誕生し、政令都市のさいたま市を合わせて、県と4市がそれぞれに食品衛生監視指導計画を作成しています。私たち消費者としては、埼玉県内どこに住んでいても同様の監視指導がおこなわれ、食の安全が確保されることが願いです。県と4市の間の連携を密にして、食の安全を確保してください。
- ② 「ゲノム編集技術」が、食品という消費者にとって非常に身近なところで実用化されようとしています。新しい技術に対して、消費者は関心・期待を持つ一方で、安全性や予期しない悪影響などへの不安を持つものです。ゲノム編集に関しても同様の感覚を多くの消費者が持っているものと思います。消費者として、普段の暮らしの中で、知らず知らずのうちに食べていた、もしくは後から安全性に対する問題が発覚したなどの事態が生じれば、この技術に対する不信感は一層増大すると考えられます。特に、出始めのところでは、この技術を利用した食品等を選択したくない消費者も多いと思われ、これら技術を使った食品であるか、そうでないかが確実に選べるような制度が必要であると考えます。取り扱い事業者による徹底した生産・流通の管理を前提に、消費者が正しく選択できるよう表示を義務づけるなど、社会的な理解と仕組みづくりを国に求めてください。また、県民への正しい情報提供、リスクコミュニケーションの積極的な実施に努めてください。
- ③ 全国に先駆けて制定された「埼玉県主要農作物種子条例」は国民の基礎的食料である、米、麦、大豆の種子を守り、優良な種子が安定して供給される上で、大きな役割を果たすものだと思います。条例に基づいた県独自の米・麦・大豆の優良品種育成プログラムの具体化をすすめるとともに、埼玉県として、国に対しても、引き続き、種子採取事業や検査体制を維持し、種子の安定供給を図るよう要望してください。

- (2) 消費者行政の充実強化について

- ① 昨年度、埼玉県消費者団体連絡会が実施した「2018年度都埼玉県市町村における消費者関連事業調査」からは、国の交付金制度の変更や金額の削減もあり、市町村の消費者行政関連予算が厳しく、全国に先駆けて全市町村に設置された消費者センター(他自治体への委託含む)の維持で手一杯の状況であることがわかります。地方消費者行政予算の充実を国に働きかけるとともに、市町村に独自予算確保の働きかけを行ってください。
- ② 埼玉県においては市町村がおこなう消費者安全確保地域協議会の設置が2019年6月末現在、17市町と設置数が全国で4番目とトップクラスの実績をあげています。引き続き埼玉県として、福祉を担当する部局・消費生活を担当する部局が一緒にな

って先進的に取り組んできた経験を活かし、各市町村に対し、トータルで地域を見守るネットワーク形成、消費者安全確保地域協議会の設置を働きかけてください。あわせて、設置を進めるための推進体制を確保してください。

- ③ 県内消費者団体の育成を図るために埼玉県消費者大会への助成額の増大を図るとともに消費者団体研修会への委託事業の継続を求めます。

(3) 環境対策について

- ① 近年、海洋プラスチックごみの問題が世界各国でも取り上げられ、ストローやレジ袋などの使い捨て製品を廃止する企業も出てきています。日本でもこの間、様々な検討がすすめられています。埼玉県としても対策のための施策を検討し、県内事業者にはプラスチックの使用量削減、再生プラスチック、植物由来プラスチックへの切り替えなどの呼びかけるとともに、プラスチックごみ削減や、リサイクルについて県民への周知を行ってください。
- ② 埼玉県指定旧跡「三富開拓地割り遺跡」である「三富新田」は、循環型農業の価値が認められ日本農業遺産として認定されました。しかし、一方では後継者不足、相続税対策などで循環型農業の要である平地林が伐採され開発がすすんでいます。特に近年は、いままでになく開発のスピードが加速しており、雑木林が減少しています。埼玉県としても、今以上に循環型農業の推進と環境保全活動を積極的に進めてください。また、市民団体が行う保全活動をサポートしてください。

(4) 福祉・医療を支える取り組みについて

- ① 介護予防・日常生活支援総合事業の中で、各市町村が提供する多様なサービスは、現在も十分に整備されているとは言えません。また、市町村の財源や体制により格差が生まれることは好ましくありません。埼玉県民が安心して老後を過ごせるように、埼玉県として市町村の多様なサービスの実施状況調査、サービスづくりへの支援をおこなってください。
- ② 今後、高齢者を地域で支えるためには、住民どうしが地域で支えあう住民参加型在宅福祉サービスを行っている団体や、高齢者の身近なところで開催しているミニデイサービス等を行っている団体の役割は重要です。埼玉県として、運営に関わる費用などの支援をおこなってください。
- ③ 埼玉県生協連の会員生協でも介護事業に取り組んでおりますが、介護に関わる人材は不足しています。人材の確保と質的な充実を目指す意志を埼玉県としてしっかりと打ち出して、施策をすすめてください。すでにおこなっている施策を継続するとともに、定着できるよう住宅費の支給を自治体の施策でおこなうなど、就労支援対策の施策充実をおこなってください。
- ④ 埼玉県における医師不足の状況は、改善がみられるものの依然として低い状況にあります(43 位)。すでにおこなっている施策を継続するとともに、定着できるよう住宅費の支給を自治体の施策でおこなうなど、就労支援対策の施策充実をおこなってください。

(5) 子どもや高齢者を地域で支える取り組みについて

- ① 埼玉県がこども応援ネットワーク埼玉を立ち上げ、見えにくい子どもの貧困問題への理解を進める活動や地域での子どもの居場所づくりなど、子どもを見守りサポートする施策を充実させていることに敬意を表します。引き続き、ネットワークを広げるサポートと、居場所の運営ノウハウ(食品衛生も含む)や運営に関するサポートの実施を要望します。

- ② 平成 25 年住宅・土地統計調査(総務省統計局)によると、利用目的のない空き家は埼玉県内で 11 万戸になるとの統計があります。また、2032 年には空き家が 84 万戸に達すると予測されています。そのままにすれば地域活力の低下や、適正に管理されていない空き家は周囲に悪影響を及ぼします。こうした空き家を地域の居場所として活用し、新たなコミュニティの場としていくような施策を検討してください。
- ③ 高齢者や障害をお持ちの方に対する住環境の改善を促進してください。埼玉県の施策として、賃貸住宅のバリアフリー化や老朽化への対応、耐震化等、安全安心な住宅を維持管理するためのリフォーム補助金の制度をより充実させてください。また、国にも要望してください。

3. 東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会に関し、次の点を要望します

- (1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催まで間もなく 1 年となります。埼玉県においても 4 つの競技が開催されることになっていますが、開催にあたり大規模な交通規制などが実施され、生協の物流配送や組合員宅への配達に大きな影響が発生するのではないかと心配しています。東京都生協連では東京都オリンピック・パラリンピック準備局と大会期間中の交通規制について意見交換会を実施しております。物流に混乱が生じないためにも、埼玉県オリンピック・パラリンピック課など、運営を担う部局と、埼玉県生協連会員生協配送担当責任者との意見交換会の開催を要望します。

4. 防災・減災、東日本大震災被災者支援について、次の点を要望します

- (1) 大規模地震や近年多発する局地的風水害等に対する備えをより一層強化するとともに、県民に被害想定や事前の備えなどに関する啓発をおこなってください。
- (2) 昨年 12 月、事前の会議を経て、民間のボランティアネットワーク「彩の国会議」が発足しました。引き続き、普段からのボランティア育成、情報交換のできるネットワークづくりの推進、サポートを埼玉県として実施してください。
- (3) 東日本大震災から 8 年が過ぎました。原発事故によって福島県内の避難指示区域以外から逃れてきた「自主避難者」への住宅の無償提供が、現在打ち切られています。県内における避難者が、帰還できるまで埼玉県民とともに、地域の中で安心してくらせるように支援の継続をお願いします。また、3,025 人が県内に避難している福島県(2019 年 6 月 11 日現在復興庁資料)と、情報を共有しあい、避難者における問題の解決に尽力してください。

別紙3

埼玉県生協連 2019 年度第 1 回災害対策委員会開催報告

日時：2019 年 7 月 25 日（火）13:30～15:00 埼玉県生協連 1 階会議室

出席：笹沼文晴（コープデリ連合会）、東海林洋子（コープみらい）、堀籠克衛・石井比利（パ
ルシステム埼玉）、原雅典（生活クラブ生協）、村田比呂嗣（労済生協）、桜井博孝（コ
ープデリ連合会）、保土田毅（医療生協さいたま）、吉川尚彦・清水勤（埼玉県生協連）

*下線は欠席

【議題】

1. 協議事項

(1) 埼玉県生協連災害対策委員会／委員長の理事会推薦について

委員長については 9 月理事会議決事項であることを了解のうえ、コープデリ生活協同組
合連合会安全推進・法務部部長の笹沼文晴さんで確認しました。

(2) 第 40 回九都県市合同防災訓練埼玉県会場／8 月 31 日（日）・和光市

①第 40 回九都県市合同防災訓練概要について資料で説明しました。

②防災フェアについて資料で説明し、以下、確認しました。

○企画（展示内容）

コープみらい「防災クイズ」、パルシステム埼玉「配布訓練（飲料）」
生活クラブ生協「配布訓練（菓子）」、医療生協さいたま「握力チェック」、
労済生協「配布訓練（未定）」の内容で確認しました。コープデリ連合会、埼玉県
生協連も訓練に参加します。

○参加人数（組合員・役職員）

各生協で組合員、役職員の参加人数を集約し、埼玉県生協連で取りまとめることと
し、参加人数を考慮して、駐車許可証を各生協に割り振ることとしました。

○当日の運営について

ブースが狭いため、机の配置状況等を考慮し、防災クイズや配布訓練の段取りを
考えます。

当日のスケジュール（集合時間等）を確定し、各生協の担当者に連絡する。荒天
等による中止の場合の緊急連絡網を、各生協の担当者に連絡します。

(3) MCA 無線訓練について（訓練概要等）

次回 8 月 1 日（木）14:00。今回から、無線連絡の順番を変更すること、可能な範囲で、
いろいろな職員が無線訓練を担当することとしました。

2. 2018 年度の防災・減災の取り組み報告（各生協からの報告 5 分×6 生協）

○各生協から無線訓練や安否確認を中心に報告がされました。また、各生協の備蓄状況や
MCA 無線に代わる通信手段方法などについて意見交換しました。

○第 1 回中央地連大規模災害対策委員会の報告から、県や各自治体の物資支援拠点から避
難所までのラストマイルの取り組みについて、埼玉県の担当者を交えた意見交換の場の
設定や、各連合会等の BCP 対策について情報交換したいとの要望が出されました。

3. その他

・第 2 回災害対策委員会の開催日について

候補日：10 月 28 日（月）、10 月 30 日（水）、10 月 31 日（木）

労済生協の村田さんと調整後、各生協に連絡し確定します。

以上

2019 コ요ット in 埼玉

別紙4

ただ今超絶人気中！

「ムーミンバレーパークと鉄道博物館」

親子でたのしんじゃおう

9月14日(土)～15日(日) 1泊2日



14日(土)

- ・福島駅西口 7:00出発
- ・郡山駅西口 8:00出発 朝食(×)
- ・昼食(高速道路PA 各自)
- ・ムーミンバレーパーク(お弁当持ち込み×)
- ・夕食(○)
- ・親子レクレーション

15日(日)

- ・朝食(○)
- ・鉄道博物館(昼食 ○)
- ・郡山駅・福島駅に向けて出発！ 夕食(×)

全行程、バスでの移動になります。

バス会社 協和交通(株)



宿泊先

9月14日(土) 埼玉県入間郡越生町古池 700

ニューサンピア埼玉おごせ 電話: 049-292-6113 1組=1部屋

参加対象

福島県在住の小学2年生～小学6年生と保護者

募集人数

15組 35人(1組=保護者1人・こども2人まで) 大人は1人まで

※応募多数の場合は抽選となります。

参加費

大人1人 8,000円 こども1人 5,000円

出発地

9月14日(土) 福島駅 7時/郡山駅 8時出発 バスで移動

帰着地

9月15日(日) 郡山駅 17時30分・福島駅 18時30分到着(予定)

申込方法

福島県生協連のホームページよりお申込みください。

応募締切

8月16日(金) 午前中

その他

①詳しい持ち物については、参加者にお送りする「しおり」で確認してください。

②アレルギー調査票、健康チェック表など、お子さんの安全を守るために事前にご記入いただきます。ご協力をお願いします。

③天候などの事情で、開催中止や企画内容が変更になる場合があります。ご承知おきください。

④施設見学でのアトラクション代金は、各自負担となります。

⑤夕食は、大人用と子供用になります。

【内容に関するお問い合わせは】

埼玉県生活協同組合連合会 担当 清水 勤

☎048-844-8971 9時～17時(土日祝休)

【お申込みにに関するお問い合わせは】

福島県生活協同組合連合会 担当 根本

☎024-522-5566 9時～16時(土日祝休)

主催: 埼玉県生活協同組合連合会・埼玉県ユニセフ協会

旅行企画: コープトラベル東北 コープトラベルみやぎ 観光長官登録旅行業第1122号

総合旅行業務取扱管理者 五十嵐めぐみ

2019. 7. 24

埼玉消費者被害をなくす会 青木和彦

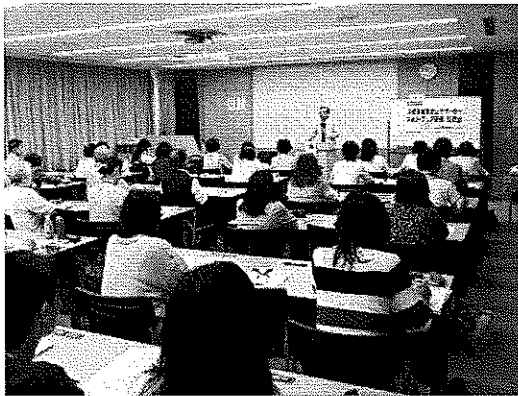
●消費者被害防止サポーターを対象としたフォローアップ研修・交流会を実施しました。

消費者被害防止サポーターによる啓発活動のためのスキルアップや、行政と連携した活動の広がり为目的に、2019年度地区別フォローアップ研修、交流会がスタートしました。今年度は「キャッシュレス社会の広がり」と電子マネー決済の注意点を学ぶ」をテーマに7会場で研修を実施し、サポーター171人が参加しました。

参加したサポーターからは、「決済が便利になることは悪質業者にとっても匿名性などで便利になることがわかった」「カード決済の明細を点検すべきだと思った」「家族に伝えたい」などの感想が寄せられました。

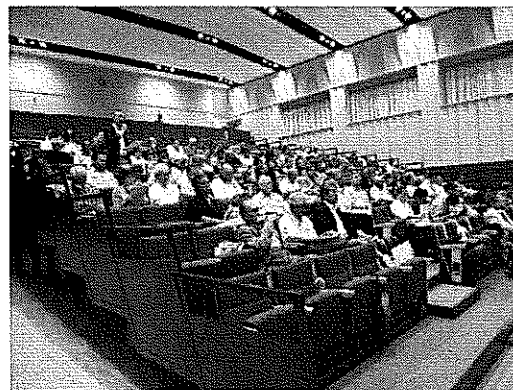
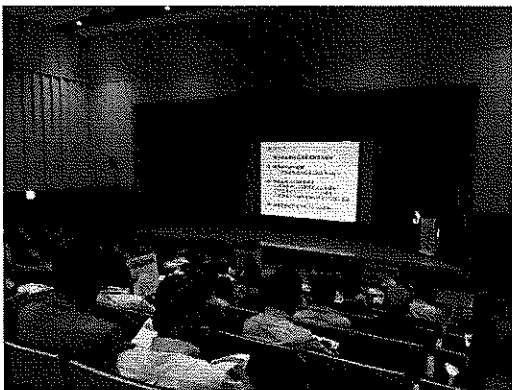
また、消費者行政を担当する自治体職員への参加の案内を強め、7会場合計で15人の職員が参加され、啓発活動の取り組みや計画について報告していただきました。

報告後にはサポーター同士の交流に自治体の職員も加わり、具体的な啓発活動の内容などについて話し合い、寸劇をやってみることが決まったグループもありました。

**●福祉見守り担当者講座を開催しました。**

2019年度は年4回の開催計画として受託しましたが、5市1町から開催申し込みがあり、会場費やテキスト印刷などの協力を得ることで、計画を超えて実施できる予定です。

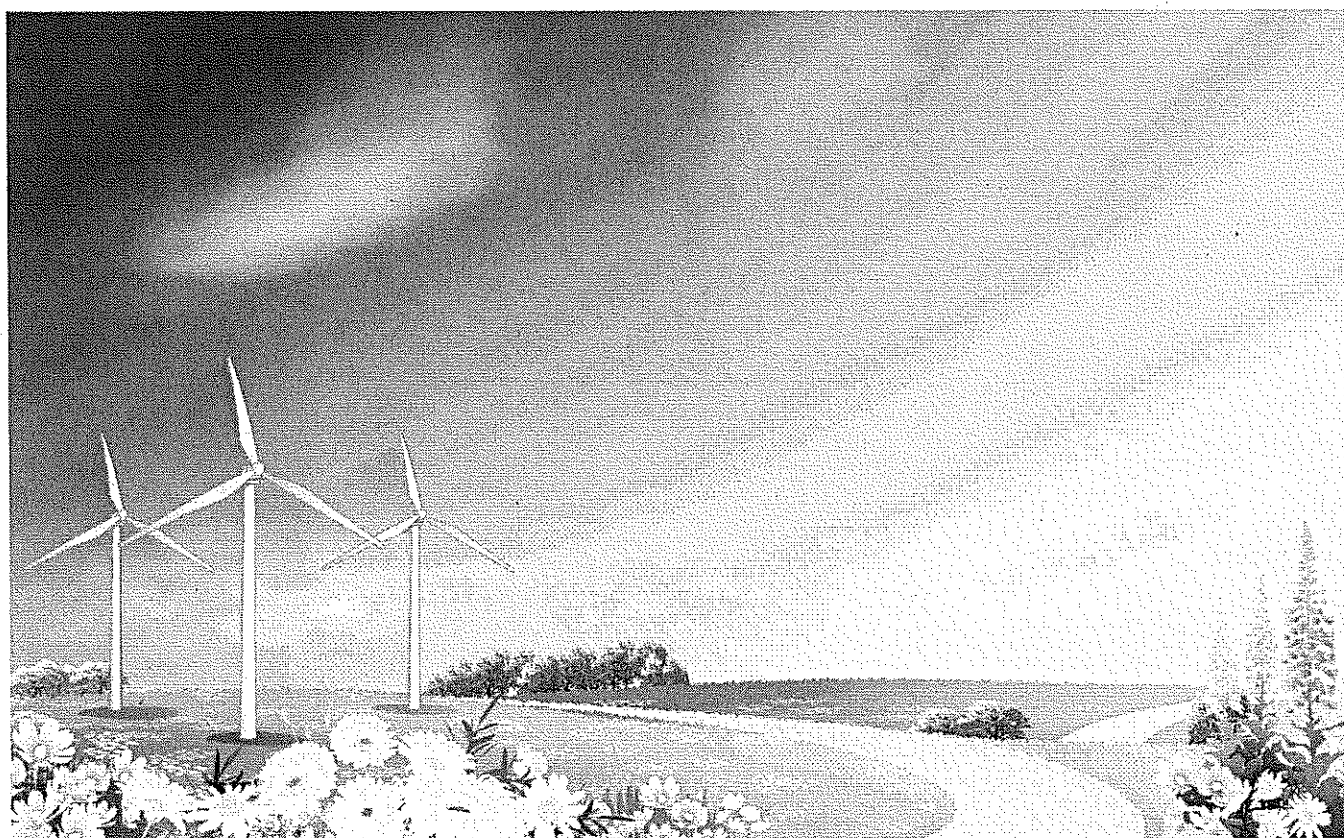
7月11日に坂戸市で開催した講座には、「坂戸市区長会」の方々103人が参加しました。坂戸市では4月1日に「消費者安全確保地域協議会」を設置し、その構成メンバーである区長会の方々に、消費者被害の手口や状況の理解と、地域での見守り活動を進めるうえでのポイントを学ぶ場と位置づけて、講座を実施しました。



NO NUKES!

別紙6

2019 さよなら原発埼玉県民集会



日時：2019 年 10 月 5 日(土)午後 1 時 50 分 (1 時 30 分開場)

場所：市民会館おおみや大ホール (JR大宮駅東口から徒歩15分)

参加費：無料 (さよなら原発埼玉県民集会は、個人・団体の募金で実施しています)

主催／2019 さよなら原発埼玉県民集会実行委員会

＜埼玉県原爆被害者協議会、埼玉県生活協同組合連合会、原水爆禁止埼玉県協議会、埼玉県平和運動センター他＞

◆お問い合わせ先 TEL 048-844-8971 (埼玉県生協連内 実行委員会事務局)

プログラム

◆10時～12時〔市民会館おおみや第5集会室〕

2019 さよなら原発埼玉県民集会 県内団体交流会

◆13時50分～16時30分〔市民会館おおみや大ホール〕

2019 さよなら原発埼玉県民集会

13時50分 アトラクション 埼玉のうたごえ協議会

14時 開会

報告① 瀬戸大作さん(避難の協同センター事務局長)

報告② 鈴木直子さん(原発避難者と歩む@川越)

記念講演 講師：小出裕章氏

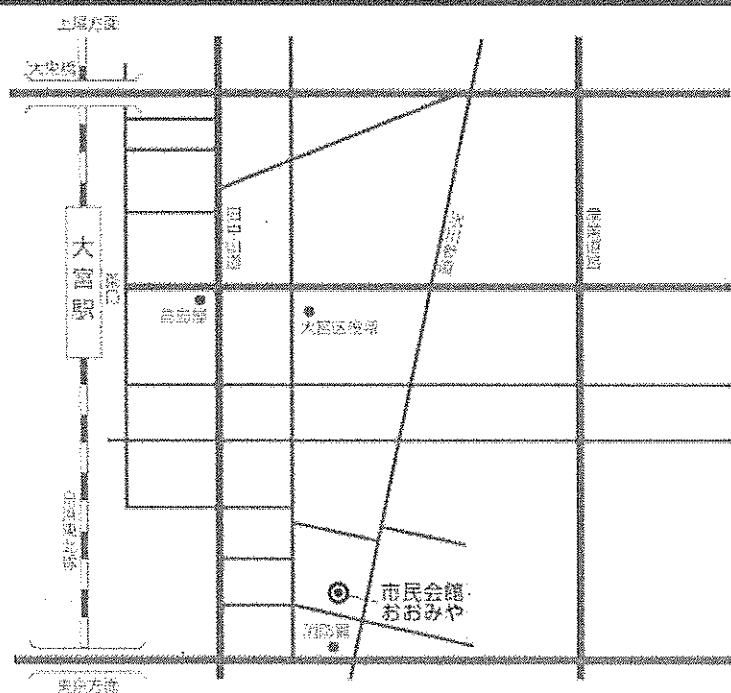
「(仮のテーマ) フクシマ事故が私たちに問うこと」

略歴 1949 年 東京生まれ 1974 年 東北大学工学部原子核工学科、同大学院修了
1974 年 京都大学原子炉実験所助教 2015 年 3 月定年退職 (退職後松本市へ移住)
主な著書 『放射能汚染の現実を超えて』(2011 年 5 月、河出書房新社) 『小出裕章 原発と憲法 9 条』(2012 年 1 月、遊絲社) 『騙されたあなたにも責任がある』(2012 年 4 月、幻冬舎) 『100 年後の人々へ』(2014 年 8 月、集英社新書) 他多数

16時30分 閉会

市民会館おおみや

アクセス方法



電車でお越しの方

【大宮駅をご利用の場合】

JR線・ニューシャトルほか 大宮
駅東口より徒歩 15 分

市民会館おおみや

〒330-0844 さいたま市大宮区下
町 3-47-8

TEL. 048-641-6131

2019 年度 埼玉県生協連 7 月度活動報告

月日	会議・行事名称（主な議題・活動内容など）
7/3	第1回組合員学習会（吉川・清水桂・清水勤・加藤） 中央地連組合員理事交流会（大久保） 消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会越谷会場（青木）
7/8	第40回九都県市合同防災訓練事前会議（清水勤） 消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会東松山会場（青木）
7/9	第97回国際協同組合デー記念中央集会（吉川・大久保・清水桂） 埼玉消費者被害をなくす会第1回活動委員会（清水勤・田中）
7/10	JCA 全国交流集会（吉川） 平和・市民5団体懇談会（大久保・加藤） 第34回埼玉県原爆死没者慰霊式第3回実行委員会（大久保・加藤）
7/11	中央地連大規模災害対策協議会（吉川・加藤） 埼玉県消費者団体連絡会幹事会（吉川・大久保・清水桂） 埼玉県プラスチック問題対策協議会（大久保） 福祉見守り担当者講座坂戸市会場（青木）
7/12	第55回埼玉県消費者大会プレ学習会（吉川・大久保・清水桂・清水勤・青木・加藤） 第55回埼玉県消費者大会第4回実行委員会（吉川・大久保・清水桂・清水勤・青木）
7/16	2030 SDGs カードゲーム学習会（大久保） 消費者被害防止サポーターフォローアップ研修川越市会場（青木）
7/17	第1回県連活動推進会議全国版（吉川）
7/18	第1回県連活動推進会議全国版（吉川） NPT 再検討会議に向けた学習交流会（吉川）
7/19	消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会飯能市会場（青木）
7/23	中央地連第1回運営委員会（吉川） 地域生協と中央労働金庫との懇談会（吉川）
7/24	フードバンク埼玉第2回理事会・運営委員会（吉川・大久保・清水桂）
7/25	第1回災害対策委員会（吉川・清水勤） 2019 平和のための埼玉の戦争展設営（加藤）
7/27	埼玉県企画財政部・福祉部・環境部訪問（吉川・大久保・清水桂・加藤） 2019 平和のための埼玉の戦争展（加藤） 第34回埼玉県原爆死没者慰霊式前日設営（大久保・清水桂・加藤）
7/28	第34回埼玉県原爆死没者慰霊式（吉川・大久保・清水桂・清水勤・青木・加藤） ヒバクシャ署名行動（吉川・大久保・清水桂・清水勤・青木・加藤） 2019 平和のための埼玉の戦争展（加藤）
7/29	埼玉県労働者共済生活協同組合第57回通常総代会（吉川・加藤） 埼玉消費者被害をなくす会第1回理事会（吉川・清水勤・田中） 埼玉消費者被害をなくす会7月検討委員会（吉川・清水勤・田中）
7/30	日本生協連ビジョンワークショップ（大久保・加藤） 全国消団連ゲノム編集学習会（吉川）
7/31	2019 年度第1回埼玉県と埼玉県生協連定期協議（吉川・大久保・清水勤・加藤）

2019 年度 埼玉県生協連 8 月度の活動予定

月日	会議・行事名称（主な議題・活動内容など）
8/1	埼玉県消費者団体連絡会幹事会（吉川・大久保・清水桂） 子どもの未来アクション「子どもの未来アンバサダー講習会」(大久保) 中央地連 MCA 無線訓練（清水勤） 消費者被害防止サポーター全体研修会・交流会さいたま市会場（青木） 消費者大会実行委員会正副打合せ（吉川・清水桂）
8/2	埼玉県労働者福祉協議会第 3 回理事会（吉川） 日本弁護士連合会と適格消費者団体との懇談会（吉川・清水勤）
8/4	ピースアクション in ヒロシマ（吉川）
8/5	ピースアクション in ヒロシマ（吉川）
8/6	ピースアクション in ヒロシマ（吉川）
8/7	ピースアクション in ナガサキ（清水桂） 埼玉消費者被害をなくす会第 2 回活動委員会（清水勤・田中）
8/8	ピースアクション in ナガサキ（清水桂）
8/9	ピースアクション in ナガサキ（清水桂）
8/21	第 55 回埼玉県消費者大会第 5 回実行委員会（吉川・大久保・清水桂・清水勤・青木・加藤）
8/22	景品表示法啓発講座熊谷市会場（青木） 埼玉県卸売市場審議会（大久保） 第 1 回活動委員会（吉川・大久保・清水桂・清水勤・青木・加藤）
8/23	全国消費者大会実行委員会（吉川・大久保・清水桂） 全国消団連理事会・運営会議（吉川） 埼玉消費者被害をなくす会 8 月検討委員会（吉川・清水勤・田中）
8/27	県内消費者団体全体研修会（吉川・大久保・清水桂・清水勤・青木・加藤）
8/28	埼玉消費者被害をなくす会消費者力アップ学習会（清水勤・田中） 平和市民 5 団体懇談会（吉川・加藤） 第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式第 4 回実行委員会（吉川・大久保・加藤） さよなら原発埼玉県民集会第 4 回実行委員会（吉川・大久保・加藤）
8/29	第 1 回常務理事会（吉川・大久保・清水桂・清水勤・青木・加藤）
8/31	2019 年度九都県市合同防災訓練和光市（吉川・清水桂・清水勤・青木・加藤）

第40回九都県市合同防災訓練(埼玉会場)への参加

2019年8月6日 埼玉県生協連

埼玉県との「基本協定」締結(1995年)から24年目を迎え、合同防災訓練への参加も21回目になります。

今回の防災訓練は、8月31日(土)8:00~15:00(和光市)で行われます。

埼玉県生協連は、①防災フェア、②応急生活物資配布訓練の2つの企画に、組合員と会員生協の役職員が協力して参加します。

1. 第40回九都県市合同防災訓練(埼玉県会場)の概要

(1) 目的

防災訓練を通じて、防災関係機関の連携を強化するとともに、防災関係機関相互の協力の円滑化を図る。

住民一人ひとりが日常及び大震災発生時において「自らが何をすべきか」を考え、また、自治会等の地域活動を通じ、地域における減災対策を講じる契機となるよう、自助・共助の意識高揚と知識の向上を図る。

防災対策における様々な課題を踏まえ、埼玉県と和光市との相互連携の充実や災害対応能力の向上を図る。

(2) 日時：2019年8月31日(土)8:00~15:00(防災フェア12:00~15:00まで)

(3) 会場：和光市役所周辺および市内各所

(4) 想定災害

東京湾北部を震源とするM7.3の地震が発生し、県南西部を中心に、甚大な被害が発生している。和光市内でも最大震度6強の揺れを観測した。

(5) 主な訓練：住民活動訓練、救出救助訓練、災害時医療訓練、ライフライン復旧訓練、緊急救援物資輸送訓練、避難所開設・運営訓練、災害ボランティアセンター開設・運営訓練

2. 九都県市合同防災訓練の詳細(別紙参照)

3. 埼玉県生協連の参加について

(1) 災害時の対応は、埼玉県と埼玉県生協連が締結している「災害時における県民生活の安定を図るための基本協定(以下、基本協定)」に基づいて実施します。

埼玉県生協連災害対策委員会を構成する、コープみらい、パルシステム埼玉、生活クラブ生協、労済生協、コープデリ連合会、医療生協さいたまが連携して物資の供給等の支援活動で力を発揮できるようにします。

(2) 組合員や職員の防災意識を高め、組合員と職員の連携や防災時の行動力を高めることとします。

(3) 会員生協の各種の訓練なども踏まえ、生協の防災・減災のとりくみや災害時の役割、東日本大震災での生協の活動を広く県民にお知らせし、生協への理解を広げる機会とします。

(4) 集合時間(事務局)と朝礼

防災フェア会場(和光樹林公園 休憩舎 埼玉県生協連ブース前)

県連職員集合 9時30分、10時00分、11時00分まで

会員生協職員集合 9時30分まで(搬入のある方)

(5) 駐車場

①事務局用駐車場については、事前希望数を確保し駐車券を送付しました。

②その他の方は可能な限り公共交通機関を使用してください。

4. 埼玉県生協連が参加する訓練の概要 防災フェアへの出展

(1) 応急生活物資配布訓練（組合員と職員の想定被災者への物資配布）

- 責任者：埼玉県生協連 清水勤
- 時間：12 時 00 分～ 15 時 00 分 ※ 配布時間は随時判断
- 物資：パルシステム埼玉（飲料 500 個）、生活クラブ生協（菓子 500 個）
労済生協（防災てぬぐい等）、コープデリ連合会
- 事務局職員 名 組合員 名 予定

(2) 防災クイズ

- 責任者：コープみらい 岡さん
- 時間：12 時 00 分～15 時 00 分
- 内容：防災クイズをよびかけ、参加者にはスポーツドリンク（粉末）進呈
- 事務局職員 名 組合員 名 予定

(3) 握力チェック 医療生協さいたま

- 責任者：医療生協さいたま 茂木さん
- 時間：12 時 00 分～15 時 00 分
- 内容：「握力チェック」
- 事務局職員 名 組合員 名 予定

(4) 閉会式（メイン会場）

今年は会場との関係で、救出救助訓練参加者のみの参加となります。

(5) 写真（清水桂）

5. 交通のご案内

最寄駅は東武東上線**和光市駅** 会場アクセス・徒歩 15 分 バス 3 分

6. 車両関連

パルシステム埼玉、生活クラブ生協

和光国際高校に 9：00～9：30 までに駐車し、その後指示に従って（10：30～）搬入開始。トラックのまま休憩舎（会場）に移動し、ブースにて物資の荷卸し。終了後、和光国際高校にもどる。

和光国際高校から、指示に従って（14：45～）移動開始。トラックのまま休憩舎（会場）に移動し、ブースにてダンボール等積み込み。解散。

労済生協、医療生協さいたま、コープデリ連合会、埼玉県生協連

8：00 以降、和光南特別支援学校に駐車する。休憩舎（会場）へは、車両の乗り入れできない。使用する機材や配布物資は、手運び。重量の重いものがある場合には、パルシステム埼玉・生活クラブ生協にその場で依頼しトラックで運んでもらう。

7. その他

飲料・昼食は、各自で用意。

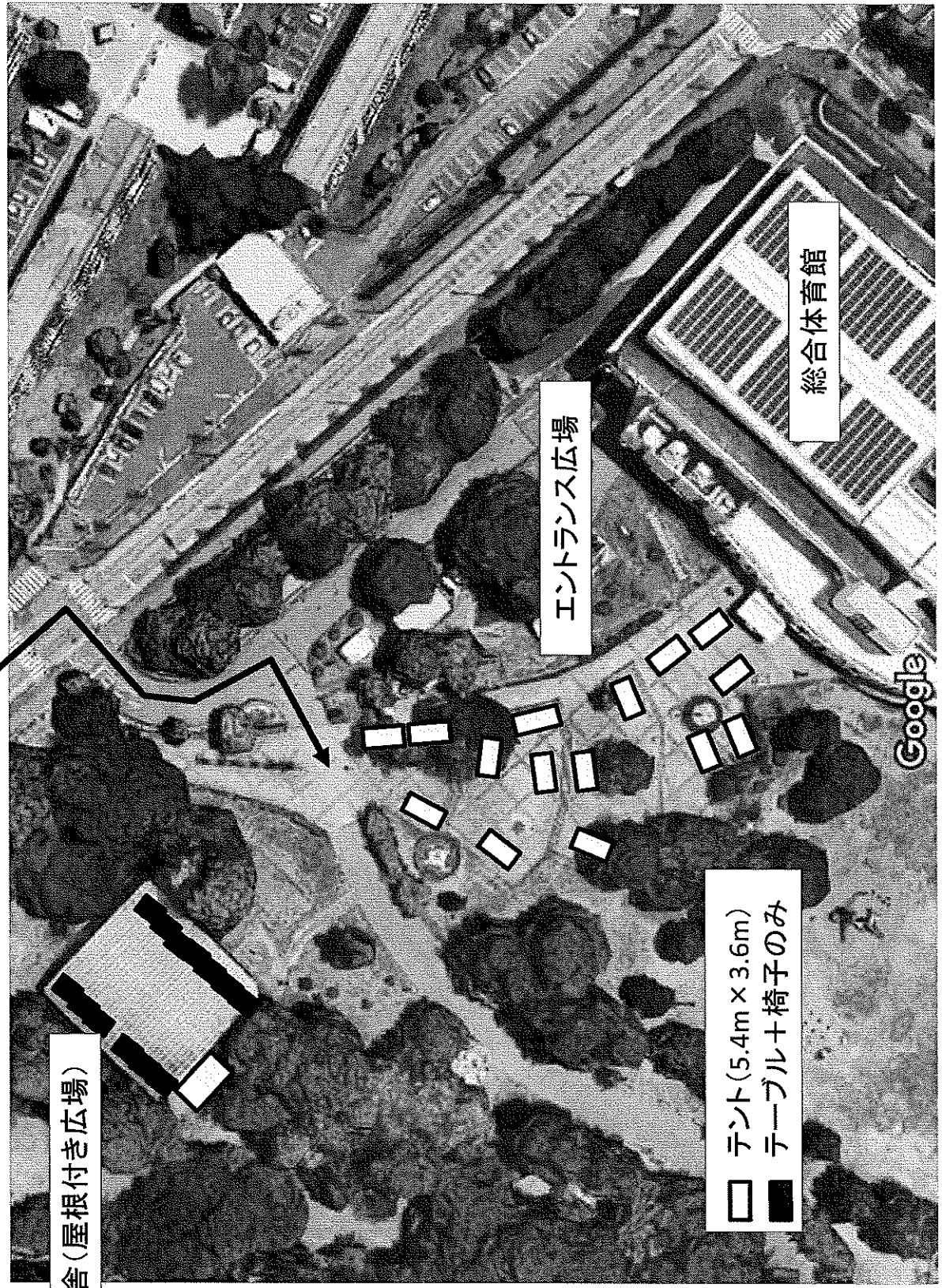
以上

当日の全体スケジュール一覧(案)

8月6日 埼玉県生協連

防災フェア会場（敬称略）										
時間	内 容	備 考								
9:00～9:30	防災フェア搬入のための車両は、指定駐車場に待機 ＊県連 清水勤搬入車確認 コープみらい、パルシステム埼玉、生活クラブ生協 医療生協さいたま、労済生協	各会員生協は、清水勤に参加報告 県連（ビブス等用意）								
9:30	コープみらい搬入開始（9:30～） 生協連・会員生協搬入開始（10:30～） ブース設営 ●県提供備品→1ブース＝イス4脚、机2台、パネル1枚 ●応急生活物資 パルシステム埼玉（飲料・500点）、生活クラブ生協（菓子・500点）、全労済（防災てぬぐい等） ●防災フェア準備 テーブル・イス・パネル・備品等設置	9:45 来賓受付（吉川さん・大山さん） 10:00 県連職員集合（加藤さん・清水桂さん）								
11:00	全体朝礼 ⇒ごあいさつ…吉川さん 司会：清水勤～役割分担、動線、諸注意の確認 ●昼食（順番）	11:00 県連職員集合（大久保さん）								
12:00	防災フェア開始 ①防災クイズ ②医療生協さいたま～握力チェック ③応急生活物資配布訓練 12:00～、12:30～、13:00～、13:30～、14:00～ …概ね30分区分切りで、状況を見ながら配布する 14:30までに片付け終了 ブースレイアウト（イメージ） 通路側 <table><tr><td>机</td><td>机</td><td>机</td><td>机</td></tr><tr><td colspan="2">防災クイズ 椅子4、パネル1</td><td colspan="2">配布訓練& 握力チェック 椅子4、パネル1</td></tr></table>	机	机	机	机	防災クイズ 椅子4、パネル1		配布訓練& 握力チェック 椅子4、パネル1		責任者：コープみらい 岡さん 責任者：医療生協さいたま 茂木さん 責任者：埼玉県生協連 加藤さん ※会員生協参加者人数 コープみらい パルシステム埼玉 生活クラブ生協 労済生協 医療生協さいたま 埼玉県生協連 職員4、組合員1 写真：清水桂
机	机	机	机							
防災クイズ 椅子4、パネル1		配布訓練& 握力チェック 椅子4、パネル1								
14:40	ブース前で写真撮影・終礼。 生協連・会員生協搬出開始（14:45～） コープみらい搬出開始（15:45～）	閉会式への参加はありません。								

和光樹林公園全景図



休憩舎 (屋根付き広場)

エントランス広場

総合体育館

□ テント (5.4m x 3.6m)
■ テーブル + 椅子のみ

Google

東京都連・埼玉県連・千葉県連共催

福祉事業公開学習会

日時 2019年10月11日(金)

10時～11時45分

会場 コープ共済プラザ7階会議室

次 第

1. 開 会 10:00～

2. 主催者あいさつ

3. 講 演 10:05～

「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続ける為に、生協が取り組むべき
福祉事業（介護・生活支援事業）について考える」（仮題）

講師 社会福祉法人 協同福祉会

理事長 村城 正

<質疑応答>11:35～11:45

4. 閉 会 11:45

東京都連・埼玉県連・千葉県連共催

福祉事業公開学習会のご案内

テーマ：「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続ける為に、生協
が取り組むべき福祉事業（介護・生活支援事業）について
考える」

講師：村城 正氏
社会福祉法人 協同福祉会 理事長

開催日：10月11日（金）10：00～11：45

講演 10：05～11：35

質疑応答 11：35～11：45

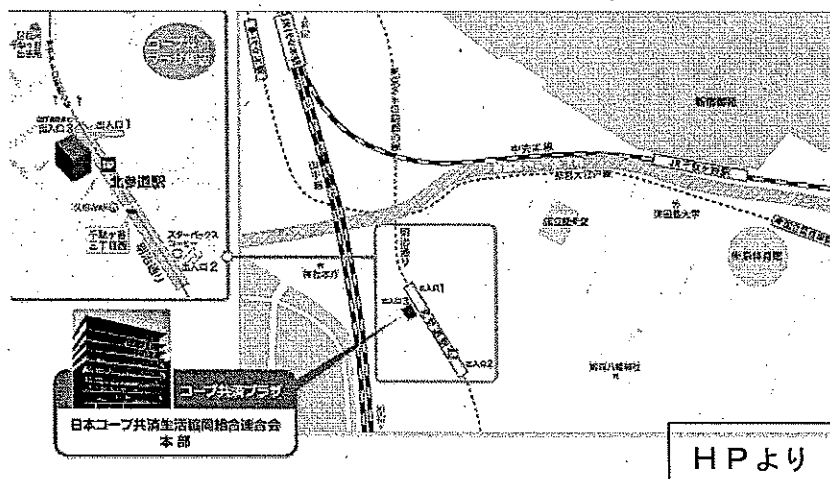


会場：コープ共済プラザ7階会議室
東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-1-13

【交通手段】

・東京メトロ副都心線
「北参道駅」出入口3直
結

・JR 中央・総武線「代々
木駅」「千駄ヶ谷駅」から
徒歩 10 分



参加申し込みについて

定員 20 人 要予約 応募者多数の場合は調整させていただきます。

申込は、9 月 27 日（金）までに埼玉県生協連までご連絡ください。

(TEL) 048-844-8971 (FAX) 048-844-8973

生協名の下に参加者名をご記入ください。不足の場合はコピーしてお使いください。

生協名		
1.	2	3

第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式報告

2019 年 7 月 28 日

第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式実行委員会

開催日時 2019 年 7 月 28 日(日) 9 時 45 分～11 時 10 分
会場 浦和コミュニティセンター多目的ホール
主催 埼玉県原爆被害者協議会
協力 第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式実行委員会
後援 埼玉県・さいたま市・さいたま市教育委員会
参列者 260 人



埼玉県原爆死没者慰霊式は「原爆死没者慰霊の碑」が建立された 1986 年から開催され、今年で 34 回目となりました。第 30 回からは場所を室内施設に移して行われています。被爆者の高齢化にともない、平和市民 5 団体懇談会が呼びかけ、埼玉県原爆死没者慰霊式実行委員会を結成し、埼玉県原爆被害者協議会(以下、しらさぎ会)とともに準備・運営などにあたりました。当日は、ご遺族、被爆者の皆さんをはじめ、260 人の参列者がありました。

式典は、しらさぎ会の高橋さんの「開会のことば」から始まり、埼玉県内の原爆死没者名簿の奉納へと進みました。2018 年度に埼玉県内で亡くなられた方 88 人を含む 1,617 人のお名前が記載された名簿が奉納されました。その後、しらさぎ会物故者の紹介を行い、黙とうを捧げました。続いて行われた主催者慰霊のことばでは、しらさぎ会の田中会長より「戦争の愚かさ、核兵器の残酷さ、非人道性を世界の市民に広め、核兵器のない世界の実現に向けた活動を続けます」と述べられました。

次に、来賓のあいさつ、献花・折り鶴奉納、追悼メッセージ披露、被爆の証言朗読と進み、最後に「原爆許すまじ」の斉唱を行いました。

なお、今年度の式典の中では、県民の行事として定着させるために、実行委員会団体に式典に関わってもらいたいとのしらさぎ会の思いから、追悼メッセージ披露などを実行委員会参加団体が担当しました。



※参考資料 来賓一覧

第34回埼玉県原爆死没者慰霊式 来賓一覧(敬称略)

NO	お名前	本人・代理・秘書	本人・代理・秘書 お名前	役職など	政党・会派など
1	上田清司	代理	番場宏	埼玉県保健医療部疾病対策課課長	
2	清水勇人	代理	穂刈浩	さいたま市総務部総務課課長	
3	さいたま市議会議長	代理	高柳俊哉	さいたま市議会副議長	
4	牧原秀樹	本人		衆議院議員	自由民主党
5	穂坂泰	本人		衆議院議員	自由民主党
6	塩川鉄也	本人		衆議院議員	日本共産党
7	黄川田仁志	秘書	竹本龍司	衆議院議員	自由民主党
8	三ツ林裕巳	秘書	志村賢一	衆議院議員	自由民主党
9	村井英樹	秘書	舟本司	衆議院議員	自由民主党
10	牧原秀樹	秘書	山田和博	衆議院議員	自由民主党
11	西田実仁	秘書	吉田正	参議院議員	公明党
12	大野もとひろ	秘書	松村東	参議院議員	無所属
13	行田邦子	秘書	山崎純	参議院議員	無所属
14	中野昭	本人		副議長	社会民主党埼玉県連合
15	田並尚明	本人		埼玉県議会議員	埼玉民主フォーラム
16	浅野目義英	本人		埼玉県議会議員	埼玉民主フォーラム
17	白根大輔	本人		埼玉県議会議員	埼玉民主フォーラム
18	高木真理	本人		埼玉県議会議員	埼玉民主フォーラム
19	町田皇介	本人		埼玉県議会議員	埼玉民主フォーラム
20	山根ふみ子	本人		埼玉県議会議員	埼玉民主フォーラム
21	前原かづえ	本人		埼玉県議会議員	日本共産党
22	中川浩	本人		埼玉県議会議員	無所属改革の会
23	土井裕之	本人		さいたま市議会議員	民主改革
24	川崎照正	本人		さいたま市議会議員	自民党真政
25	金子昭代	本人		さいたま市議会議員	日本共産党
26	久保美樹	本人		さいたま市議会議員	日本共産党
27	松村としお	本人		さいたま市議会議員	日本共産党
28	田中一	本人		NPO法人埼玉県障害者協会代表理事	
29	水谷一恵	本人		非核の政府を求める埼玉の会	
30	高橋正己	本人		埼玉県民主医療機関連合会	
31	増永哲士	本人		埼玉協同病院事務局長	
32	森谷ゆかり	本人		埼玉県保険医協会	
33	川上豊子	本人		埼玉母親大会連絡会 代表委員	
34	内田典子	本人		埼玉母親大会連絡会 事務局長	
35	新島善弘	本人		埼玉県高等学校教職員組合中央執行委員長	
36	三枝茂夫	本人		埼玉県地域人権運動連合会	
37	阿武信夫	本人		さいたま市浦和区岸町七丁目自治会会長	
38	大橋正	本人		瀬ヶ崎むつみ自治会会長	
39	和泉田道子	本人		コープ野村浦和自治会会長	

2019平和のための埼玉の戦争展開催報告 ～耳を傾け 話しあうことから 始めよう YES PEACE 2019～

2019年7月29日 埼玉県生協連

1984年以来「平和にいきる知恵と力」を育む場として、今年で第36回目を迎えた「2019平和のための埼玉の戦争展」が、7月27日(土)～7月29日(月)の3日間、浦和コルソ7階ホールで開催され、3日間開催となつてから最高の8,500人を超える来場者がありました。なお、開催にあたっては会員生協の皆さんが、運営を支える分担金協力、会場設営スタッフ、受付スタッフとして運営を支えました。

7月27日(土)、翌日は台風が接近するとの情報があり、10時30分の開場前にはすでに多くの方々が入場を待っている状況となりました。12時からのオープニングイベントに続き、13時から「核兵器禁止条約実現を」と題して、しらさぎ会の方が被爆の実相を語りました。

今年は「遺品が語る沖縄戦」の特別展示を実施、沖縄で収集された約100点の遺品とパネルの展示を行いました。会場は「ノーモア核兵器のゾーン」「戦争の実相を知るゾーン」「いまを見つめるゾーン」「これからを考えるゾーン」などにわかれて展示が行われ、訪れた高校生などがパネルを真剣に眺めていました。

また、会場の中央には「みんなで書こう平和のメッセージ」と題したコーナーが設けられ、その場でメッセージを記入する方が多くいました。記入したメッセージは会場内に貼り出されました。



埼玉の戦争展は、1981年に、埼玉県原爆被害者協議会、埼玉県婦人会連合会、埼玉県生協連、埼玉県連合青年団が共同で開催した「母と子の原爆写真展」をその母体として、県内の労働組合や多くの団体が参加して実行委員会を作り、「平和をもとめる県民運動」として開催されてきました。

埼玉県生協連 2018 年度第 6 回活動委員会報告

日時 2019 年 5 月 30 日 (木) 13 時 30 分～16 時 10 分
場所 埼玉県生協連会議室
出席 大久保 (委員長)、関野・本多 (コープみらい)、山水・石川 (パルシステム埼玉)、
菊一・金津 (生活クラブ)、磯崎・久保田 [代理・村崎] (医療生協さいたま)、塩
崎 (労済生協) [代理・山田]、荒井 (東都生協)
埼玉県生協連：岩岡会長、事務局＝加藤・清水桂・清水勤・青木
オブザーバー：平岡 (日本生協連中央地連)、大田 (日本生協連中央地連)、松原
(日本生協連) 下線欠席／敬称略

■議題

I. 話したいこと

1. 次の内容について、意見交換・交流をおこないました。
 - (1) 会員生協が計画しているテーマなどの学習計画について、各委員より報告、意見交換をおこないました。また、組合員理事に対する研修計画・制度についても交流しました。あわせて、埼玉県生協連の年間学習計画を再確認しました。
 - (2) 7/3 開催「第 1 回組合員学習会」の内容について意見交換をおこなうとともに、当日の各生協からの報告を依頼しました。
2. 各生協から 4-5 月活動報告書をもとに報告しました。

II. 日本生協連からの報告 (中央地連)

平岡さん、松原さんから、日生協・中央地連の報告や各種企画の呼びかけが報告されました。

III. 確認したいこと

1. 2018 年度のまとめと 2019 年度事業計画(確定版)を報告しました。
2. 福島の子ども保養プロジェクト(コヨット)進捗状況について報告し、意見交換をおこないました。
3. 2020 年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望集約

IV. 報告したいこと

1. 消費者問題の取り組み関連について、次の 2 点を報告しました。①消費者に関わる行政や各団体の取り組み、②第 55 回埼玉県消費者大会実行委員会報告(第 1 回・第 2 回)
2. 食の安全行政の充実・強化関連について、次の 2 点を報告しました。①食の安全に関わる行政や各団体の取り組み、②2019 年度食品衛生監視指導計画意見への回答
3. 平和の取り組みについて、次の 3 点を報告しました。①第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式関連第 1 回実行委員会報告、②折り鶴・メッセージの協力について、③2019 平和のための埼玉の戦争展への協力に関する提案
4. 協同組合間連携関連について、次の報告をしました。①全国の取り組み事例報告(協同組合ネットいばらきの事例)。
5. その他、①子どもの貧困問題の啓発活動に関するアンケート関連、②市民共同太陽光発電&蓄電池活用セミナーご案内、③埼玉労福協福祉フォーラムご案内、④さよなら原発埼玉県民集会実行委員会学習会ご案内、⑤埼玉消費者被害をなくす会この間の取り組みと今後の課題、⑥埼玉県からの受託事業報告(4 月度・5 月度)、⑦ニュースレター、⑧埼玉消費者被害をなくす会 4・5 月活動委員会報告。

V. 報告したいこと② (文章報告)

報告文章として、次の内容を報告しました。①埼玉県生協連第 5 回活動委員会(4/4)報告、②埼玉県生協連第 5 回(4/18)・第 6 回理事会(5/16)報告、③埼玉県消費者団体連絡会幹事会報告(5/10)報告、④活動日誌と予定。

最後に、1 年間の活動委員会の取り組みについて、各自から感想を述べ、第 6 回活動委員会を終了しました。

埼玉県生活協同組合連合会第7回理事会報告

- | | | |
|--------|---|--------------|
| 1. 日時 | 2019年6月20日(木) 13時28分～14時18分 | さいたま共済会館 602 |
| 2. 出席者 | 岩岡会長理事、大久保理事、齊藤理事、横山理事、大山理事、関野理事、前田理事
亀田理事、重盛理事、柳川理事、中島理事、吉川理事、中村理事、後藤理事
横田監事、奥野監事、高藤監事
議長 大久保常務理事 書記 加藤
オブザーバー 杉本創 さいたま高齢協専務理事 | |

■議題

I. 議決事項

1. 非常勤役員報酬規則改定の件
2. 2020年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望決定の件

議長の岩岡会長理事から上記1～2の提案をおこない、議場に諮ったところ、全員異議なく決議されました。検討の中では理事から、2020年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望決定の件について意見があり、要望項目の選定をおこなう上で意見を踏まえておこなうことを確認しました。

II. 監事会関連

1. 第5回監事会(5/24)報告 横田監事より資料にもとづき報告をおこないました。

III. 報告事項 次のことを岩岡会長より報告し、確認しました。

1. 機関運営関連報告

第48回通常総会関連(議事次第・会場レイアウト)、2019年度理事会への送り報告、2019彩の国食と農林業ドリームフェスタ名義後援報告

2. 個別報告・共同活動報告

7/3開催「第1回組合員学習会」ご案内、2019コヨット in 埼玉関連、2019年度「体験稲刈り&田んぼの生きもの調査」開催について、7/12開催「第55回埼玉県消費者大会プレ学習会」ご案内、さよなら原発埼玉県民集会実行委員会学習会ご案内

3. 一般報告(一括して報告)

食の安全に関わる行政や各団体の取り組み、消費者に関わる行政や各団体の取り組み、第55回埼玉県消費者大会第2回実行委員会(5/20)報告、第34回埼玉県原爆死没者慰霊式第1回実行委員会報告、第11回ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会報告、NPO法人埼玉消費者被害をなくす会この間の取り組み今後の課題、NPO法人埼玉消費者被害をなくす会埼玉からの委託事業報告

4. 文書報告

埼玉県生協連 2019 年度第 1 回活動委員会

日時	2019 年 8 月 22 日 (木) 13 時 30 分～16 時 00 分
場所	埼玉県生協連会議室
出欠	別紙参照
次第	1. 出欠報告 (事務局)

■議題

I. 話したいこと

1. 埼玉県生協連活動委員会委員長選任について

口頭

アイスブレイク

別紙あり

2. 埼玉県生協連活動委員会の役割と考えてみたいこと
3. ヘルスチャレンジ 2019 のすすめ方について
4. 2019 彩の国食と農林業ドリームフェスタ出展について
5. 7/3 開催「第 1 回組合員学習会」報告・ふりかえり
6. 11/21 役職員研修会、12/12 組合員活動交流会概要について
7. 6-8 月活動報告書と各会員生協資料

事前資料 P 1-4

当日資料 P 1

当日別紙

当日資料 P 2

事前資料 P 5

当日資料 P 3-4

当日別冊

II. 日本生協連からの報告 (中央地連)

当日別冊

III. 確認したいこと

1. 福島の子ども保養プロジェクト(コヨット)進捗状況
2. NPT 再検討会議への被爆者参加を支援する募金への協力について
3. 第 55 回埼玉県消費者大会関連

事前資料 P 6

当日資料 P 5-6

事前資料 P 7-9

当日資料 P 7

IV. 報告したいこと

1. 業務報告
 - (1) 埼玉県生協連 7 月度のまとめと今後の課題
2. 個別報告
 - (1) 8/31 開催 第 40 回九都県市防災訓練について
 - (2) 10/11 開催 3 都県連共催「福祉事業公開学習会」について
 - (3) 第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式報告
 - (4) 2019 平和のための埼玉の戦争展報告
 - (5) ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会署名活動報告

事前資料 P 10-23

事前資料 P 24-27

事前資料 P 28-29

事前資料 P 30-31

事前資料 P 32

当日資料 P 8

V. 報告したいこと②文書報告

1. 埼玉県生協連 2018 年第 6 回活動委員会 (5/30) 報告
2. 埼玉県生協連第 7 回理事会 (6/20) 報告
3. 第 48 回埼玉県生協連通常総会報告
4. 活動日誌と予定

事前資料 P 33

事前資料 P 34

事前資料 P 35

当日資料 P 9-11

次回の活動委員会は、10 月 17 日 13 時 30 分～ 埼玉県生協連 会議室です

2019年度 第1回活動委員会（8月22日）

メンバーと出欠（敬称略）

生 協 名	氏 名	役 職	出欠	備 考
埼玉県生協連	吉川 尚彦	会長理事	○	
同上	大久保美紀	常務理事	○	
コープみらい	境 由華	理事	○	
同上	本多 達	参加とネットワーク推進部 部長	○	
パルシステム埼玉	佐藤 節子	理事	欠	
同上	石川 誠	組織運営部 部長	○	
生活クラブ生協	下川 美紀	理事	○	
同上	金津 貴子	役員室	○	
医療生協さいたま生協	高橋 順子	理事	欠	
同上	牛渡 君江	統括部長	○	代理：村崎郁子
埼玉県労働者共済生協	塩崎 輝幸	事業推進部 部長	○	代理：中山豊
東都生協	荒井 伸幸	組織運営部 部長	欠	
事務局	加藤 一彦	事務局長	○	
同上	清水 勤	事務局	○	
同上	清水 桂	事務局	○	
同上	青木 和彦	事務局	○	
日本生協連中央地連	大田 英夫	担当事務局	○	

ヘルスチャレンジ 2019 の進め方について

2019年8月22日 埼玉県生協連

1. はじめに

2018年度第6回理事会で、医療生協さいたまの実施する「ヘルスチャレンジ 2019」を共催することを確認しました。7月より取り組みが開始され、インターネットサイトもオープンしました。具体的な進め方について、埼玉県生協連が行うこと、会員生協に呼びかけて行うことにわけて取り組みを具体化します。

2. ヘルスチャレンジ 2019 の概要

期間	2019年7月～11月の間で、1か月間チャレンジ
取り組み内容	次の5つのチャレンジコースから1つを選び、自分で決めた健康に関する取り組みを、1か月間実践して、その内容を報告します。 ①いきいき快汗(運動)、②バランスよく快食(食生活) ③お口の健康(口腔衛生)、④脳を活性化(脳トレ)、⑤私の健康法
報告締切り	2019年12月31日までに報告
備考	チャレンジ内容を報告いただいた方の中から抽選でプレゼントあり

3. 具体的な取り組み

(1) 会員生協で取り組むこと

- ① 今年より開設されたチャレンジ内容を報告するインターネットサイトの活用を軸に、創意工夫を凝らし取り組んでください。
- ② QRコードを広報紙や組合員活動で使用する資料などに掲載し、組合員、日々の組合員活動における参加呼びかけをご検討ください。

登録はこちら



ヘルスチャレンジサイト

(2) 埼玉県生協連として取り組むこと

- ① 協同組合間連携の一つとして、JAさいたま中央会に取り組みを発信します。その中では、特にJA埼玉女性組織協議会に打診し、取り組みへの参加を呼びかけます。
- ② 県域団体のつながりを活かし、県内の協同組織(埼玉労福協、ワーカーズコープ、県社協など)、埼玉消団連をはじめとする県内消費者団体などへの広報を通じて、参加を呼びかけます。
- ③ 埼玉県生協連の持つ機能を活かし、県行政・マスコミなどに取り組みを発信し、認知を広げる取り組みをおこないます。

4. 補足

- (1) コープみらい、パルシステム埼玉、生活クラブ生協では、医療生協さいたまの協力依頼を受けて、次の協力を行う予定です。

コープみらい	店舗・施設へのポスター掲示
パルシステム埼玉	組合員・役職員への記録用紙配布、施設・事務所へのポスター掲示、ホームページへのリンク
生活クラブ生協	チラシの配布

- (2) 広報物への掲載をご検討いただく場合には、医療生協さいたまの担当者から情報提供できるように手配します。埼玉県生協連にご連絡ください。
- (3) 数量は限られますが、医療生協さいたまで作成したチャレンジシート(紙ベース)の活用も可能です。ご検討される場合は、埼玉県生協連までご連絡ください。
- (4) 同時に開催している「キッズチャレンジ 2019」にはチャレンジ内容を報告するインターネットサイトがありません。紙のチャレンジシートを活用することになります。

2019 彩の国 食と農林業ドリームフェスタ出展について

2019年8月22日 埼玉県生協連

1. はじめに

- (1) 国際協同組合年をきっかけに、協同組合間連携の一環として、4 会員生協と埼玉県生協連が出展を行ってきました。昨年からは連携するフードバンク埼玉も出展を行いました。
- (2) 活動委員会での昨年の振り返りなどからは、展示内容について生協の活動を伝える展示の必要性や、埼玉県生協連と会員生協、フードバンク埼玉のブースが一体感を持てるスタンプラリーのような企画の検討の必要性があがりました。
- (3) 今年度は、前年度の展示内容を基本としながら、各生協の活動を伝えるための展示と一体感を持った展示を取り入れます。

2. 2019 彩の国 食と農林業ドリームフェスタ概要

日程 2019年11月16日(土)・17日(日) 両日とも10時～15時

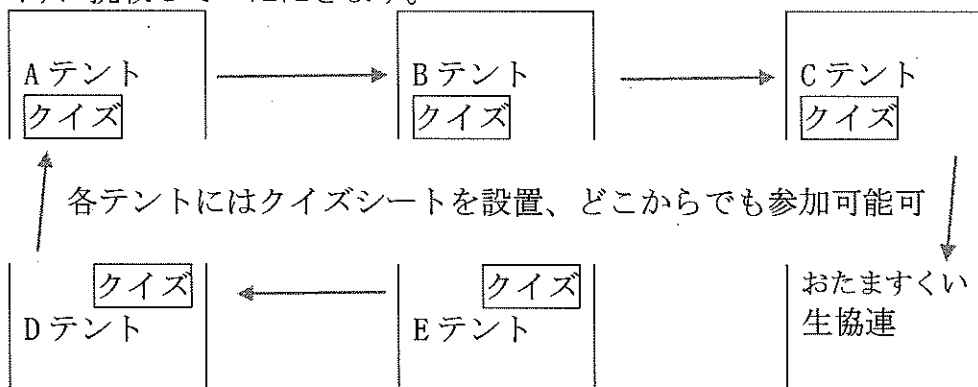
場所 草加市松江1-10 まつばら綾瀬川公園

3. 出展内容提案

- (1) 提示内容については、各生協でご検討いただいた内容を、埼玉県生協連で共有しながら進めます。なお、展示の一部で、生協の活動や組合員活動を紹介展示についてもご検討をお願いします。
- (2) 埼玉県生協連のテントでは、各テントと連動したクイズラリーと、県内生協の活動紹介の展示を行います。

4. クイズラリー

- (1) クイズラリーは、各テント(4 会員生協・フードバンク埼玉)の入り口付近に、各生協にちなんだクイズを掲示し、参加者に回答してもらいます。正解者には、用紙にスタンプを押していただきます。各テントではクイズラリー参加者への対応をお願いします。
- (2) クイズラリーのゴールは埼玉県生協連のテントです。各テントのクイズに回答し、埼玉県生協連のテントにきた参加者には、おたますくいゲーム(アメやチョコレート)に挑戦していただきます。



- (3) クイズの内容については、参加生協に相談しながら、検討します。
- (4) スタンプについては、埼玉県生協連で準備しますが、各生協のスタンプを使用いただいても結構です。
- (5) 実施時間については、基本は10時～12時、13時～14時で検討します。参加者は400人を想定し準備をおこないます。天候などを考慮しながら変更する可能性があります。

2019 年度役職員研修会について(1 次案)

2019 年 8 月 22 日 埼玉県生協連

1. はじめに

- (1) 役職員研修会は協同組合や生協の事業、組織運営等、重要な政策テーマについて学び深めることを目的に開催しています。
- (2) 2019 年度役職員研修会は、日本生協連が 2018 年 9 月から検討を開始した福祉事業中長期戦略の検討の中間報告について学びたいと思います。

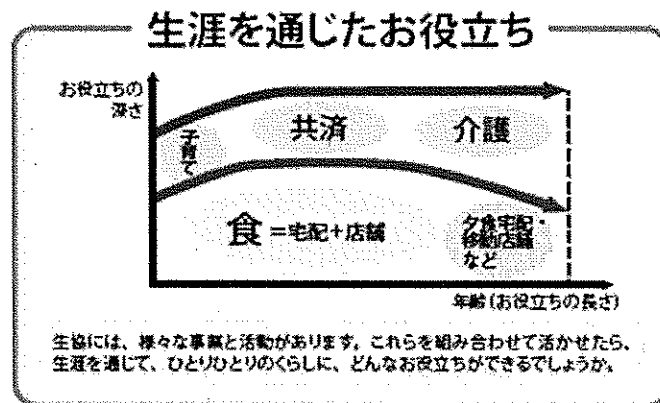
2. 実施内容

日時 2019 年 11 月 21 日(木) 13 時 30 分～15 時 30 分

会場 浦和コミュニティセンター第 13 集会室

テーマ 『生協が「生涯を通じたお役立ち」をはたすために(仮題)』

福祉・介護に対する組合員・地域からのニーズは高まり、介護・ヘルスケア産業が市場規模を大きく拡大する中、生協にとっても福祉事業分野は重要な事業分野です。中間報告では、私たちを取り巻く環境変化や生協福祉事業の到達点を踏まえながら、生協事業の中での福祉事業の位置づけを明確にし、発展の方向性を考えます。



講師 日本生活協同組合連合会 福祉事業推進部 ○○○○さん

対象 県連・県内生協役員(非常勤役員含む)、福祉事業部局、関連社会福祉団体
役職員

定員 70 人

3. 申込方法

11 月 8 日(金) までに生協ごとにとりまとめて、埼玉県生協連の清水までご報告ください。定員を超える申込があった場合には、各生協と調整させていただきます。

お問合せ・申込

埼玉県生活協同組合連合会 清水桂

電話 048-844-8971 FAX048-844-8973

Eメール:k.shimizu@saitama-k.com

2019 年度組合員活動交流会（案）

2019 年 8 月 22 日 埼玉県生協連

1. はじめに

- (1) 埼玉県生協連では、くらしに関わる様々な社会的課題について、生協として関わることの必要性、重要性を提起し、会員生協の取り組みにつなげることのできる組合員・役職員を対象とした学習会をおこなっています。
- (2) 昨年の組合員活動交流会では、NPO 法人ハンズオン埼玉の西川正さんを講師にお迎えし、地域コミュニティづくりについてさまざまな事例を交えてお話しいただきました。地域の住民が主体者として関わることで、つながりができ、地域の課題解決をすすめていけることを学びました。
- (3) 今回の組合員活動交流会では、組合員活動にかかわるみなさんがかかわる「楽しい会議のすすめ方」と「共通認識の作り方」について、ワークショップ形式で学びたいと思います。

2. 実施内容

日時	2019 年 12 月 12 日（木）10 時 30 分～15 時 30 分
会場	未定
目的	①活動をすすめるうえでのコミュニケーションスキルアップをはかります。 ②各会員生協での組合員活動の相互理解を深める場とします。
内容	①楽しい会議のすすめ方、共通認識の作り方を学ぶ ②会員生協の活動交流（テーマ：参加を広げるための工夫・悩み・・・ 実際の事例をもとに交流できるよう関連する資料を用意）
対象	組合員理事・組合員活動に地域で関わり、運営・サポートしている方 ※具体的には各生協で次のような方々をイメージしています 各生協の組合員理事・役職員 コープみらい→ブロック正副委員長 パルシステム埼玉→委員長会議メンバー 生活クラブ生協→ブロック会議メンバー 医療生協さいたま→組合員活動委員会メンバー 大学生協→学生委員 など
定員	80 人
集約	11 月 29 日（金）締切でお願いします。埼玉県生協連 清水桂までご連絡ください。

NPT 再検討会議への被爆者参加を支援する募金への協力について

2019 年 8 月 19 日 埼玉県生協連

1. 報告

日本生協連「2020NPT・被爆者活動支援募金」に埼玉県生協連として 5 万円募金します。

2. 補足

- (1) NPT(核不拡散防止条約)再検討会議は、1970 年の条約発効以来、5 年に一度、条約の運用状況を点検するために行われている会議です。会議の会期にあわせて、被爆者が現地入りし、核兵器の非人道性や核兵器廃絶を訴えてきました。しかし、被爆者の平均年齢が 84 歳を超え、2025 年 NPT(核不拡散防止条約)再検討会議への参加が難しくなってきます。今回の会期に合わせて、より多くの被爆者を現地に派遣するため、募金に協力します。
- (2) 募金は、日本生協連を通じて日本被団協に贈られ、国連本部開催原爆展に関する費用、被爆者渡航費用補助、現地サポート費用などに使用されます。
- (3) 募金額については、前例や基準がありません。そのため、過去に埼玉県生協連が行ってきた自然災害の支援募金額と同額の 5 万円としました。

以上

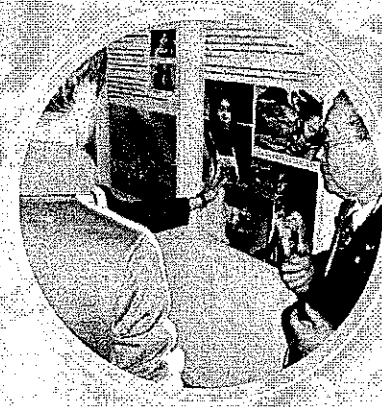
被爆者活動支援募金

2020年NPT再検討会議に向けて

世界の人に、
被爆者に直接会ってほしい。
各国の代表に、
核兵器がどんな結果をもたらすのか、
『原爆展』を通して、知ってほしい。



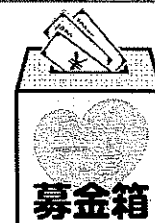
募金を通じて、被爆者の活動を応援しよう



2020年4月末、各国の代表者が集まるNPT（核兵器不拡散条約）再検討会議が開催されます。被爆者は、会議にあわせて、アメリカ・ニューヨーク国連本部ロビーで『原爆展』の開催や被爆証言活動を予定しています。

✿ 皆さんからの募金で実現できること

● 国連本部ロビー「原爆展」の開催 ● 被爆者渡航費補助 ● 別世事務局・サポーターの活動費用補助 ※内訳はご本報掲載に任じます



第 55 回埼玉県消費者大会全体会事務局スタッフ派遣のお願い

2019 年 8 月 22 日 埼玉県生協連

今年度も、埼玉県内 25 の消費者団体が実行委員会に参加し、第 55 回埼玉県消費者大会開催に向けた話し合いをおこなってきました。埼玉県生協連は、埼玉県消費者団体連絡会幹事団体として実行委員会に関わり、運営をサポートしています。

今大会成功に向けて、当日の運営を支えるスタッフ派遣を提案しますので、ご協力ください。

1. 各会員生協からの運営スタッフ派遣人数

(1) 会員生協ごとの人数と役割は次のとおりです。() 内は昨年依頼人数

	コープみらい	パルシステム 埼玉	生活クラブ 生協	医療生協 さいたま	労済生協
総合受付			1	1	1
来賓対応	1				
託児		1			
会場誘導				1	
舞台運営	1	1			
合計	2 人 (4 人)	2 人 (3 人)	1 人 (1 人)	2 人 (2 人)	1 人 (1 人)

(2) 補足

- ① 上記とは別途、当日設置する各団体の受付には、参加人数にあわせて必要な受付スタッフを配置してください。
- ② ロビー会場の設営・撤収、分科会会場設営は、受付を担当されるスタッフ、埼玉消団連幹事団体スタッフを中心におこないます。
- ③ 託児については、パルシステム埼玉のキッズヘルパーさんをお願いします。
*事前申込み者のみ、定員 10 人。
- ④ 会場誘導は、前方からの着席を促し、会場内のスムーズな移動をサポートします。舞台運営は、全体会中の舞台設営（イスや演台の設営など）と時間管理をおこないます。
- ⑤ なお、11 時前後より、上記とは別途、分科会設営にご協力をお願いします。
当日のスタッフ資料でご確認ください。

2. 運営スタッフの活動時間

10 月 10 日 (木) 9 時 00 分～13 時 00 分

集合時間・場所 9 時 00 分 大ホールホワイエ集合
終了時間 13 時 00 分目安 ホワイエ撤収後、解散
※解散後はぜひ、分科会にご参加ください。

3. スタッフ集約について

派遣いただくスタッフの名簿については、9 月 17 日 (火) までに、埼玉県生協連の清水桂までお知らせください。担当していただく役割とお名前をご記入ください。

ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会報告

2019年8月6日 埼玉連絡会事務局

1. 現在の署名数

315,247 筆(2019年7月末日集約分まで)

2. この間の取り組み

(1) 埼玉県内市町村首長への署名の取り組み

連絡会発足時より取り組んでいる首長への署名行動は、7月末日現在で61市町村(県内市町村数は63)となっています。残り2市町についても、継続して対応を行っています。

(2) 埼玉県議会議員への署名の取り組み

各市町村での署名活動の活性化を目的として、昨年10月から開始した埼玉県議会議員への署名行動は、7月末日現在で17人から署名をいただいています。4月に県議会議員選挙が実施され、あらためてどのように対応していくのかを検討しています。

(3) 7/28 署名行動

埼玉連絡会主催の署名行動を、第34回埼玉県原爆死没者慰霊式終了後に実施しました。当日は35度を超える猛暑の中、埼玉県原爆被害者協議会(しらさぎ会)の皆さんをはじめ、連絡会参加団体から約40人が参加して浦和駅東口通路で約1時間にわたって署名行動を行いました。その結果、76筆の署名をいただきました。



3. 今後の取り組み

前回開催した第11回埼玉連絡会では、地域でどのように署名をひろげていけるかについて、あらためて話し合いを行いました。その中では、若年層へのアプローチの重要性、SNSで拡散されるような取り組みの検討などがあがり、具体化を進めていくことになりました。

以上

埼玉県生協連 活動報告と予定

2019.8.22 活動委員会

活動経過 (2018年6月～8月)	
6/1	さいたま夢まつり (松伏)
/2	6.2 オール埼玉総行動集会
/3	中央地連 MCA 無線訓練
/4	憲法 25 条埼玉集会第 5 回実行委員会
/5	埼玉県食品ロス削減ネットワーク会議 埼玉消費者被害をなくす会第 12 回活動委員会
/6	生活協同組合コープみらい第 7 回通常総代会 日本弁護士連合会と適格消費者団体との懇談会
/7	埼玉県労働者福祉協議会全国研究集会 (～9 日) 改正消費者契約法学習会
/11	消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会 (春日部)
/12	生活協同組合パルシステム埼玉第 26 回通常総代会 埼玉県消費生活審議会
/13	埼玉県消費者団体連絡会幹事会
/14	日本生活協同組合連合会第 69 回通常総会
/15	婦人問題会議全体会、福祉フォーラム
/18	生活クラブ埼玉生活協同組合第 45 回通常総代会 埼玉県勤労者生活協同組合第 65 回通常総代会 第 55 回埼玉県消費者大会第 3 回実行委員会 消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会 (熊谷)
/20	第 7 回理事会、第 48 回通常総会 2019 年度第 1 回理事会、第 1 回監事会
/21	平和・市民 5 団体懇談会 第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式第 2 回実行委員会 消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会 (さいたま) 全労済労災運動体験学習 (～22 日・新神戸)
/22	医療生協さいたま生活協同組合第 38 回通常総代会
/23	消費者委員会 10 周年シンポジウム
/25	埼玉消費者被害をなくす会第 16 回通常総会
/26	さよなら原発埼玉県民集会第 3 回実行委員会・学習会
/28	埼玉消費者被害をなくす会 6 月検討委員会
/29	さいたま住宅生活協同組合第 28 回通常総代会
/30	生活協同組合・さいたま高齢協第 14 回通常総代会
7/3	第 1 回組合員学習会、中央地連組合員理事交流会 消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会 (越谷)
/8	第 40 回九都県市合同防災訓練事前会議 消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会 (東松山)

/9	第 97 回国際協同組合デー記念中央集会 埼玉消費者被害をなくす会第 1 回活動委員会
/10	JCA 全国交流集会、平和・市民 5 団体懇談会 第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式第 3 回実行委員会
/11	中央地連大規模災害対策協議会、埼玉消団連幹事会 埼玉県プラスチック問題対策協議会、福祉見守り担当者講座（坂戸）
/12	第 55 回埼玉県消費者大会プレ学習会・第 4 回実行委員会
/16	2030 SDGs カードゲーム学習会 消費者被害防止サポーターフォローアップ研修（川越）
/17	第 1 回県連活動推進会議（～18 日・全国版）
/18	NPT 再検討会議に向けた学習交流会
/19	消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会（飯能）
/23	中央地連第 1 回運営委員会、地域生協と中央労働金庫との懇談会
/24	フードバンク埼玉第 2 回理事会・運営委員会
/25	第 1 回災害対策委員会
/27	2019 平和のための埼玉の戦争展（～29 日）
/28	第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式、ヒバクシャ署名浦和駅前行動
/29	埼玉県労働者共済生活協同組合第 57 回通常総代会 埼玉消費者被害をなくす会第 1 回理事会・7 月検討委員会
/30	日本生協連ビジョンワークショップ ゲノム編集技術の食品への応用学習会
/31	埼玉県と埼玉県生協連との第 1 回定期協議
8/1	埼玉消団連幹事会、中央地連 MCA 無線訓練 消費者被害防止サポーター全体研修会・交流会（さいたま）
/2	埼玉県労働者福祉協議会第 3 回理事会 日本弁護士連合会と適格消費者団体との懇談会
/4	ピースアクション in ヒロシマ（～6 日）
/7	ピースアクション in ナガサキ（～9 日） 埼玉消費者被害をなくす会第 2 回活動委員会
/21	第 55 回埼玉県消費者大会第 5 回実行委員会
/22	第 1 回活動委員会、景品表示法啓発講座（熊谷）
活動予定（2019 年 8 月～10 月）	
8/23	埼玉消費者被害をなくす会 8 月検討委員会
/27	県内消費者団体全体研修会
/28	第 34 回埼玉県原爆死没者慰霊式第 4 回実行委員会 さよなら原発埼玉県民集会第 4 回実行委員会 埼玉消費者被害をなくす会消費者力アップ学習会
/29	第 1 回常務理事会
/31	2019 年度九都県市合同防災訓練（和光）
9/4	第 12 回ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会

/7	適格消費者団体連絡協議会（～8日・東京）
/11	埼玉県消費者団体連絡会幹事会
/12	第2回理事会
/13	埼玉消費者被害をなくす会第3回活動委員会
/14	2019 コヨット in 埼玉（～15日・飯能） 体験稲刈り&田んぼの生き物調査
/19	第55回埼玉県消費者大会第6回実行委員会
/24	中央地連第2回運営委員会
/26	埼玉消費者被害をなくす会第2回理事会・9月検討委員会
10/1	中央地連 MCA 無線訓練
/5	2019 さよなら原発埼玉県民集会
/8	埼玉消費者被害をなくす会第4回活動委員会
/10	第55回埼玉県消費者大会
/11	日本弁護士連合会と適格消費者団体との懇談会
/17	第2回活動委員会
/21	埼玉消費者被害をなくす会 10月検討委員会
/24	埼玉消団連幹事会
/25	中央地連行政担当者会議
/31	第2回災害対策委員会